





正月
大申
頼基朝臣
あけのぼる
北邊
小松の
引連を
降る山崎
あ



三月
春系
奥風
のつらよ
さる月貝
地不月
あえ
あ
あ



二月
絳帳朝臣
絳帳の
あつ
春あそ
あ



四月
源順
ほろきひ
あ
らん



五月
かぐ
あれ
あ
あ
あ
あ



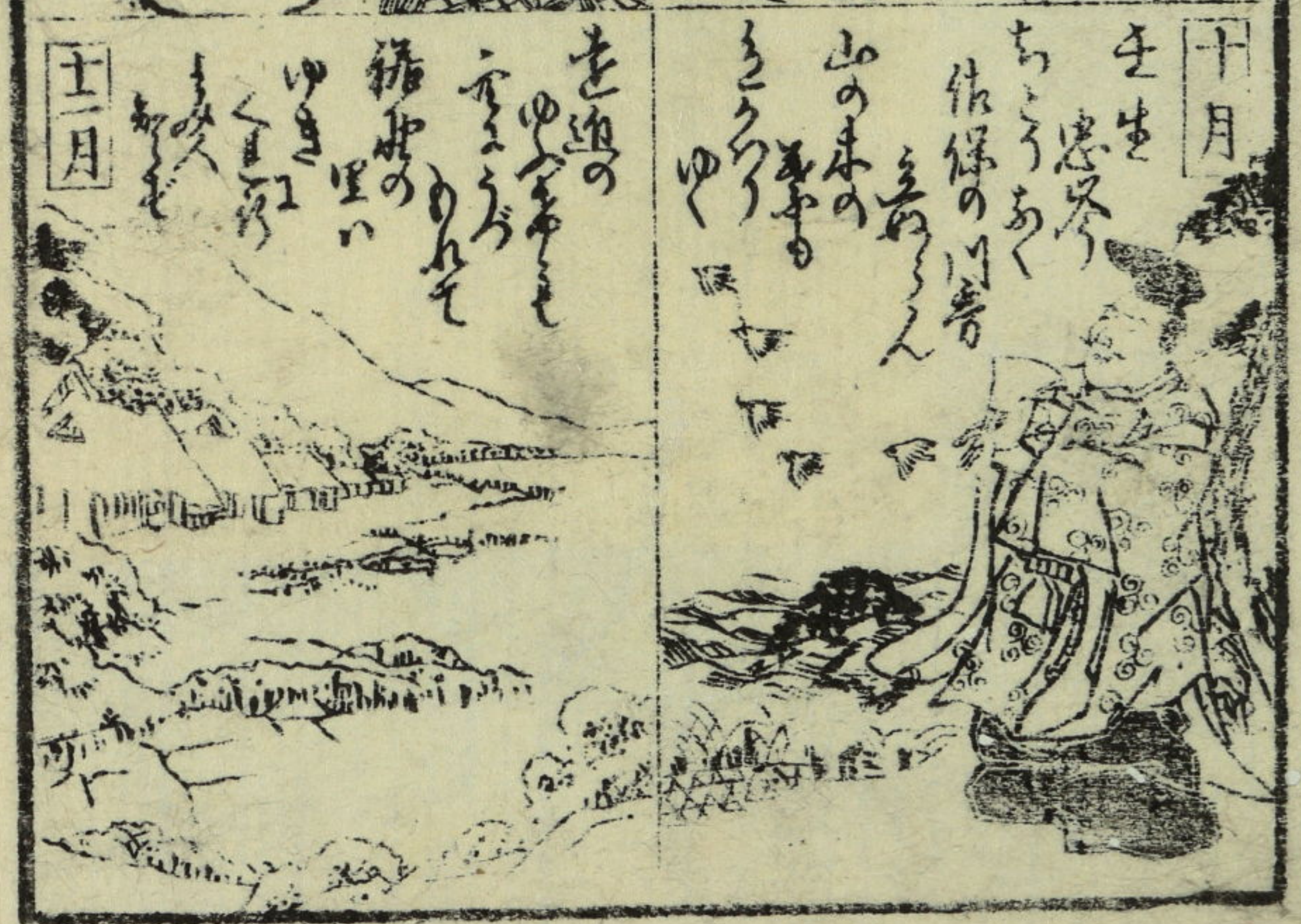
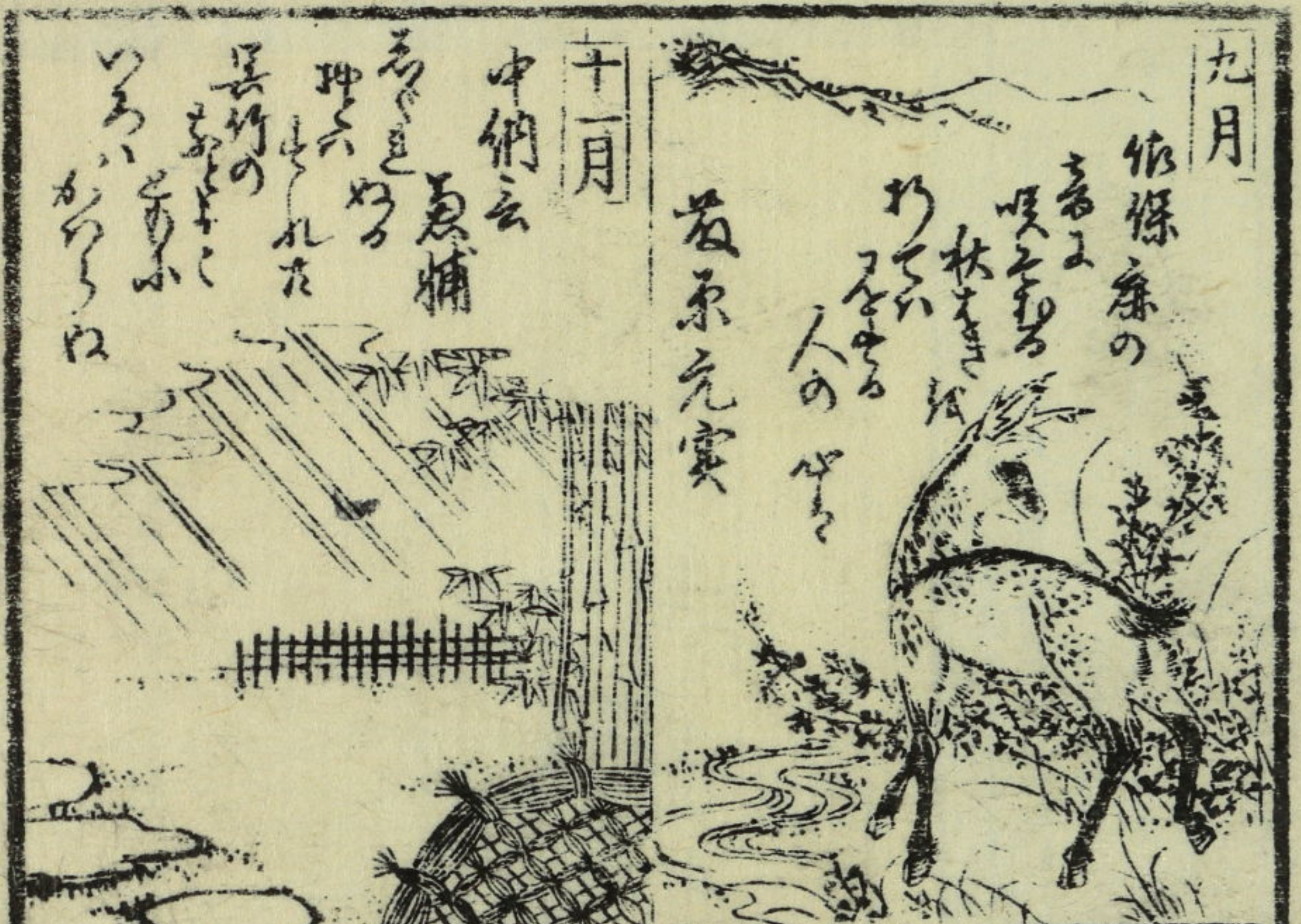
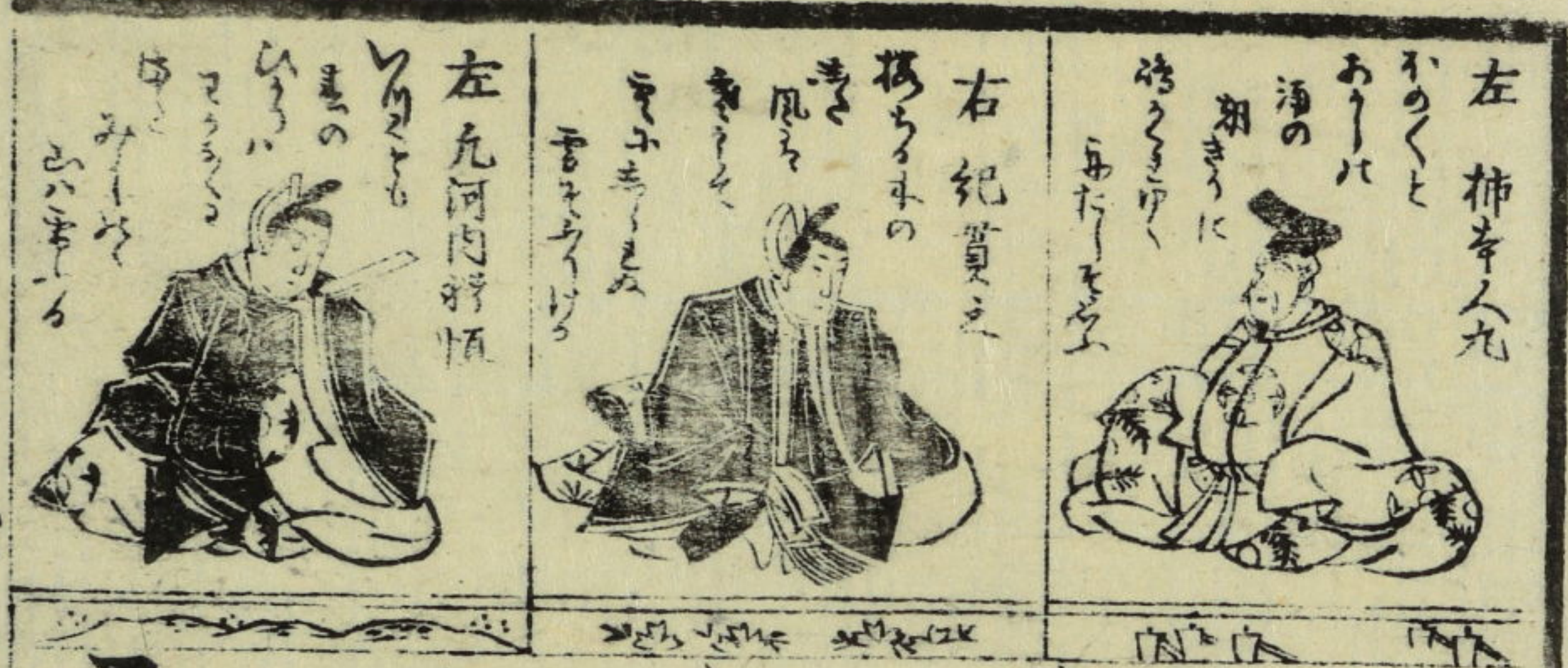
七月
素性法師
あ
あ
あ
あ

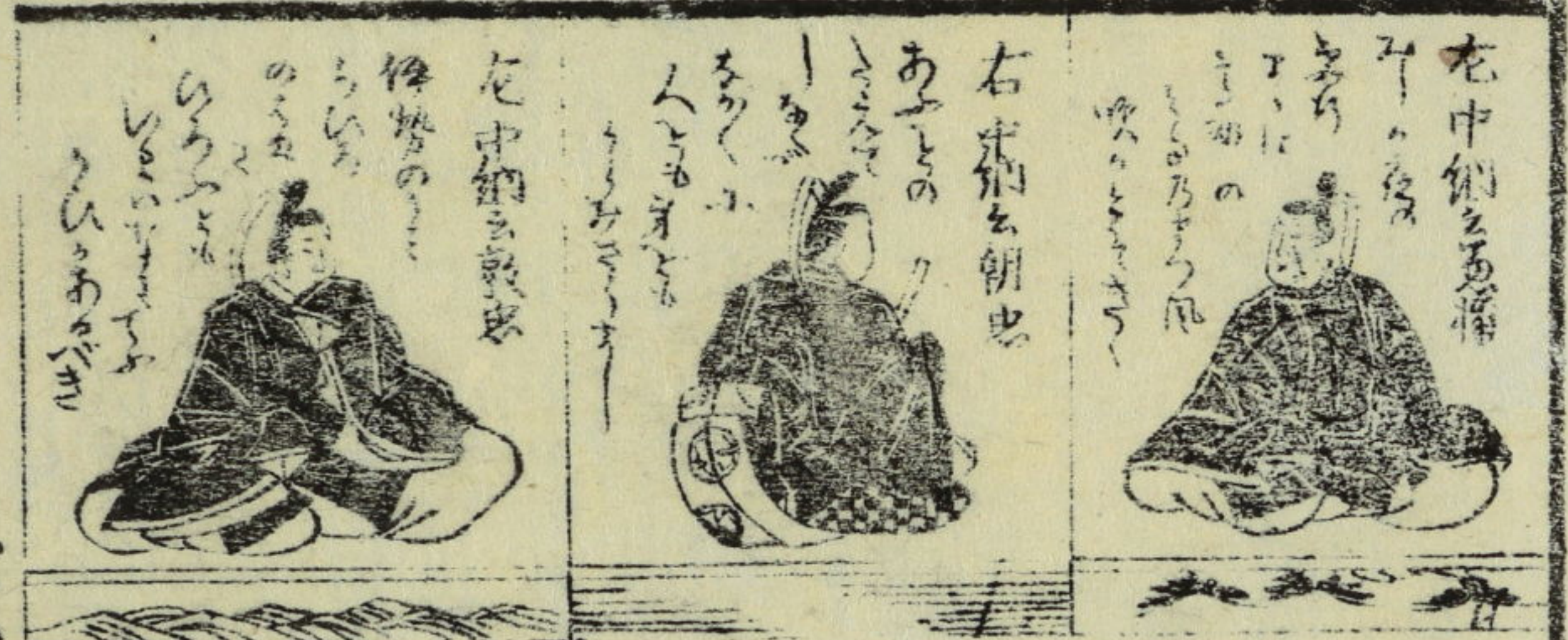


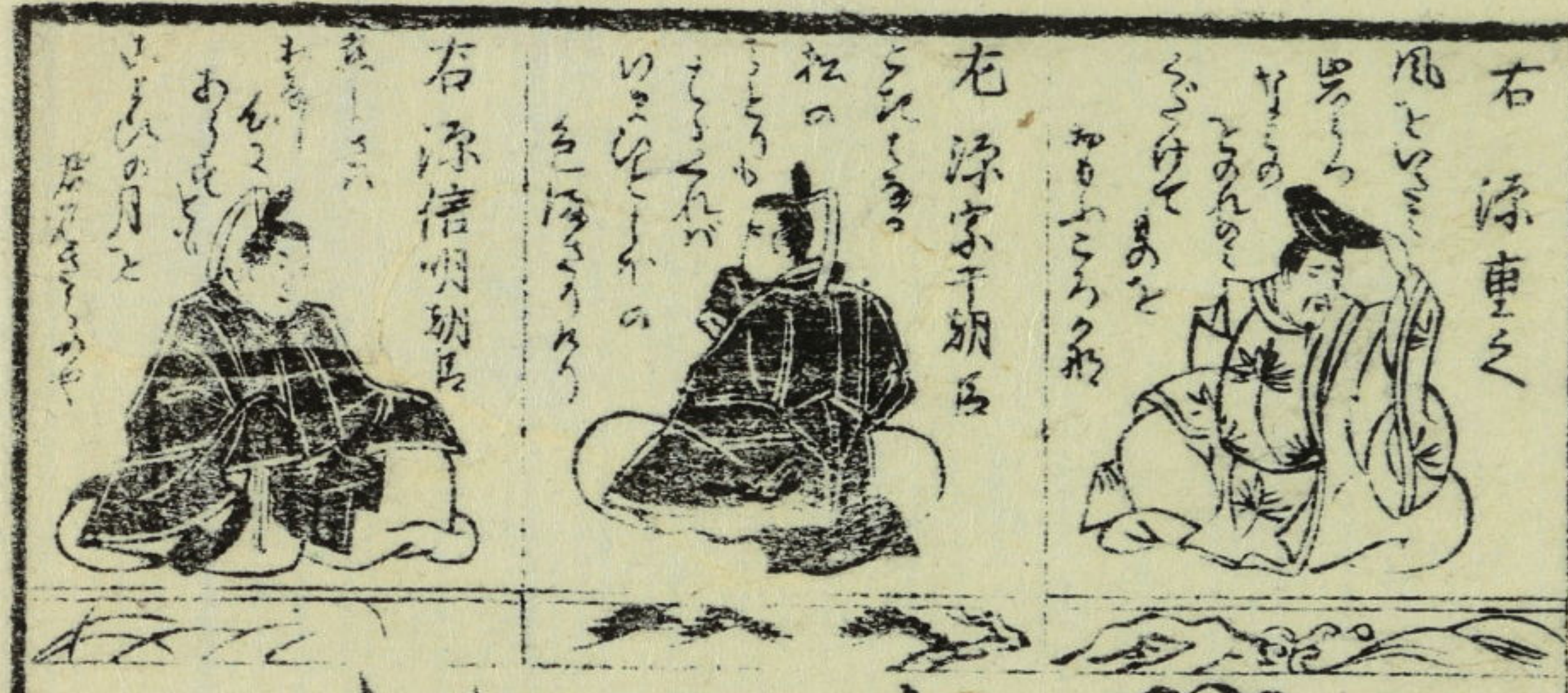
六月
あ
あ
あ
あ
あ

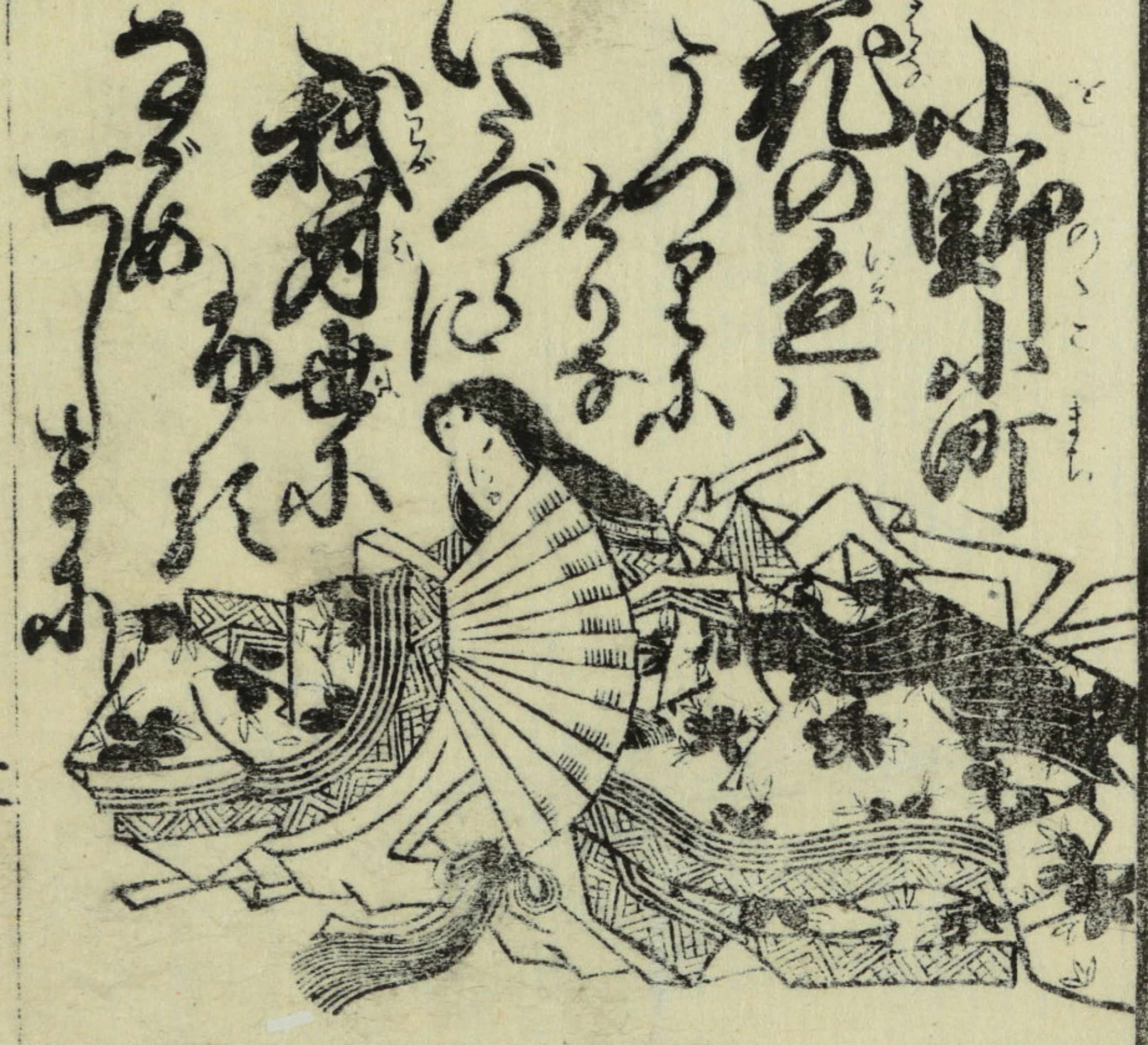


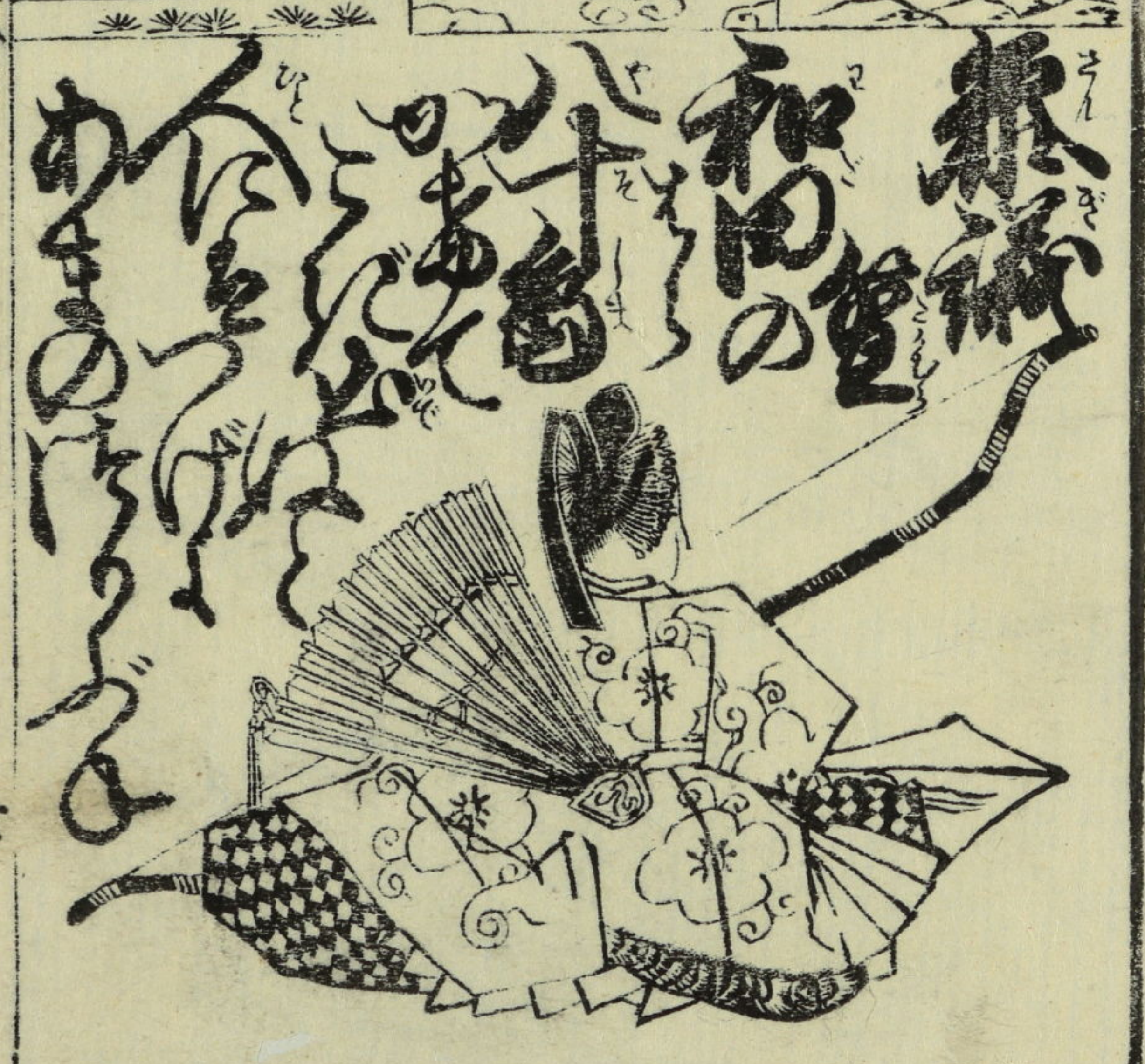
八月
あ
あ
あ
あ
あ







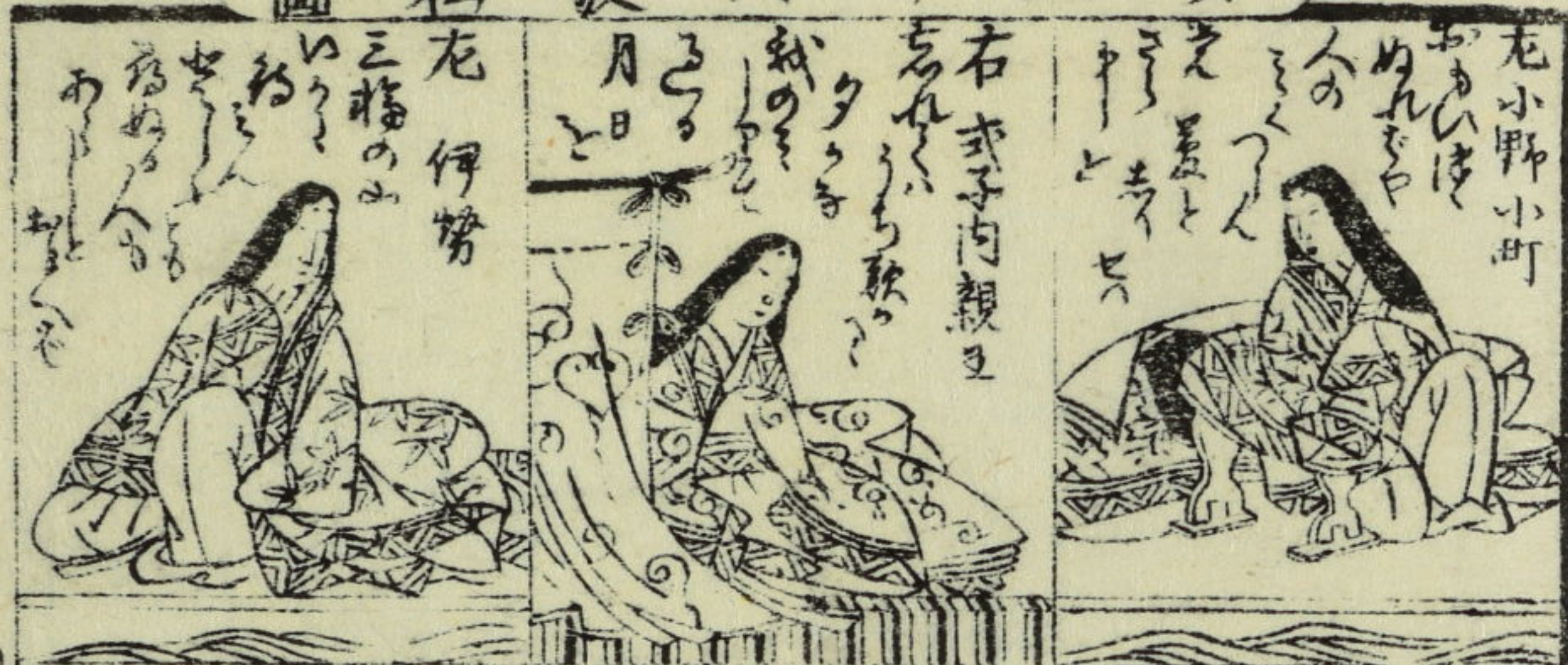




右 清系元補

右 藤系元真

女三十三歌仙圖



右式子内親王
右中務
右壬生忠良

右式子内親王
右中務
右壬生忠良

右式子内親王
右中務
右壬生忠良



右中務
右壬生忠良

右壬生忠良

右壬生忠良

右壬生忠良

右壬生忠良

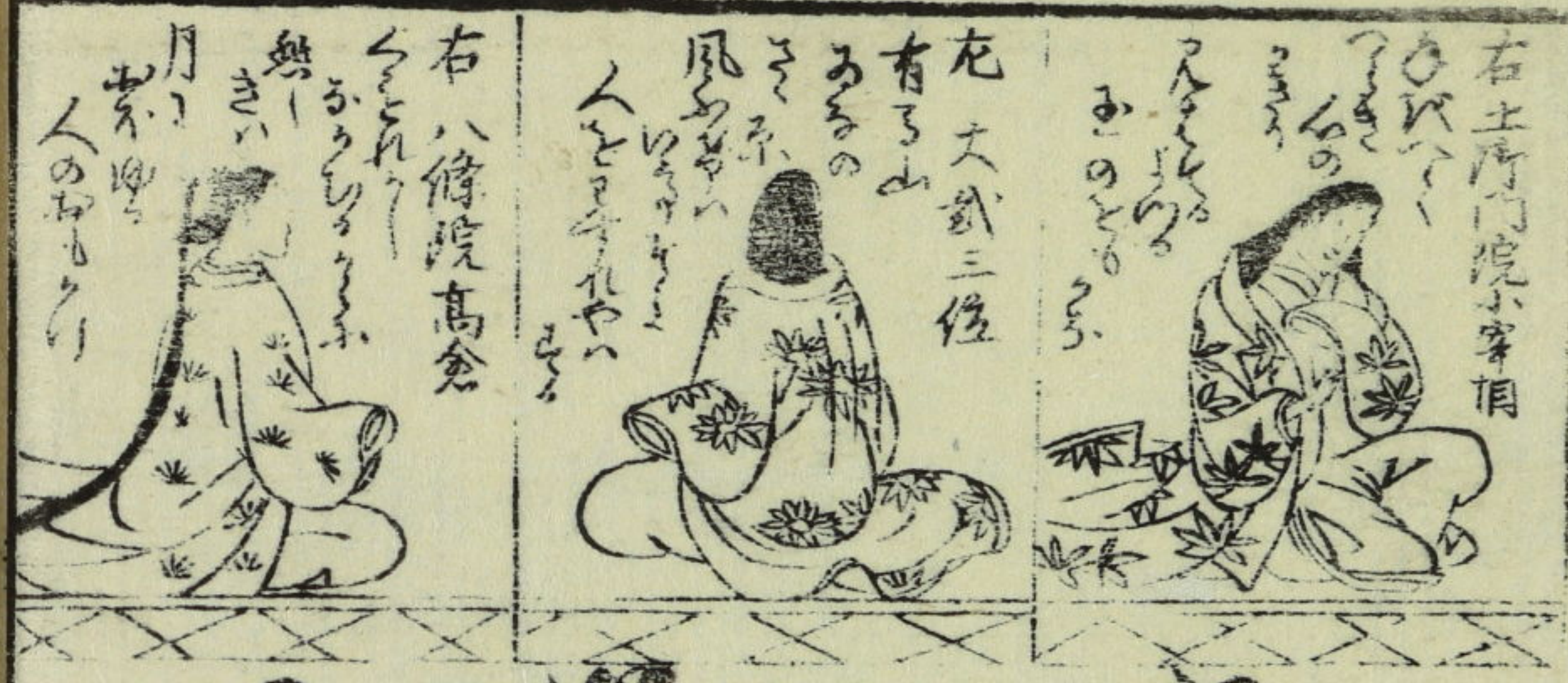
右壬生忠良



右 右道
あふきと
月日
今

右 佐藤の女
あふきと
月日
今

右 八條院高倉
あふきと
月日
今



右 八條院高倉
あふきと
月日
今

右 大貳三位
あふきと
月日
今

右 土所内院小宰相
あふきと
月日
今



わりの
其原業平
の
後
神代
能
今



中納言
業平
の
今





右 赤坂内侍
 右 赤坂内侍
 右 赤坂内侍



右 赤坂内侍
 右 赤坂内侍
 右 赤坂内侍




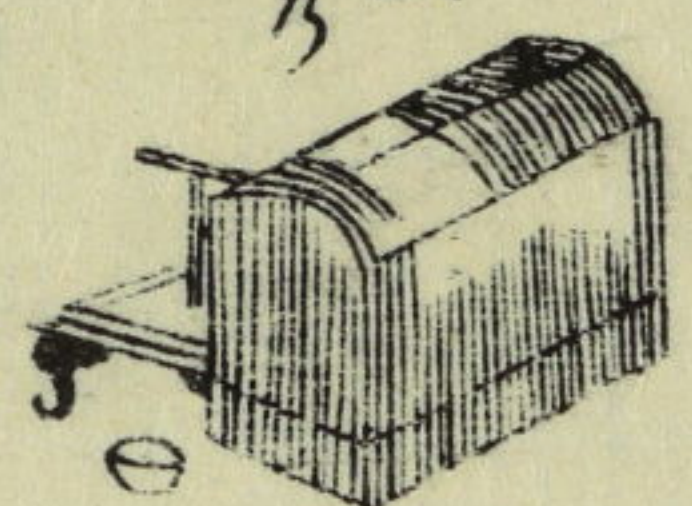
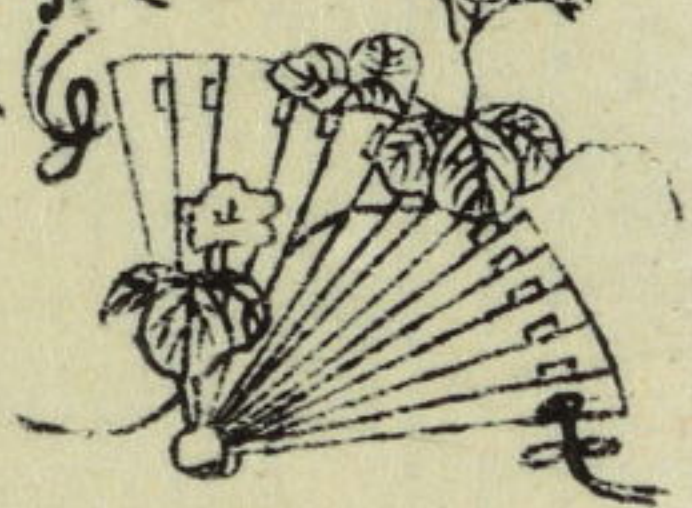
素性法師
 今来ひ
 青の
 まら
 出らう那



之良親
 今来ひ
 歌波
 舟
 のらん



源氏物語香圖引歌

<p>末摘花 あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの</p> 	<p>三葉紫 あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの</p> 	<p>夕顔 あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの</p> 
--	---	---

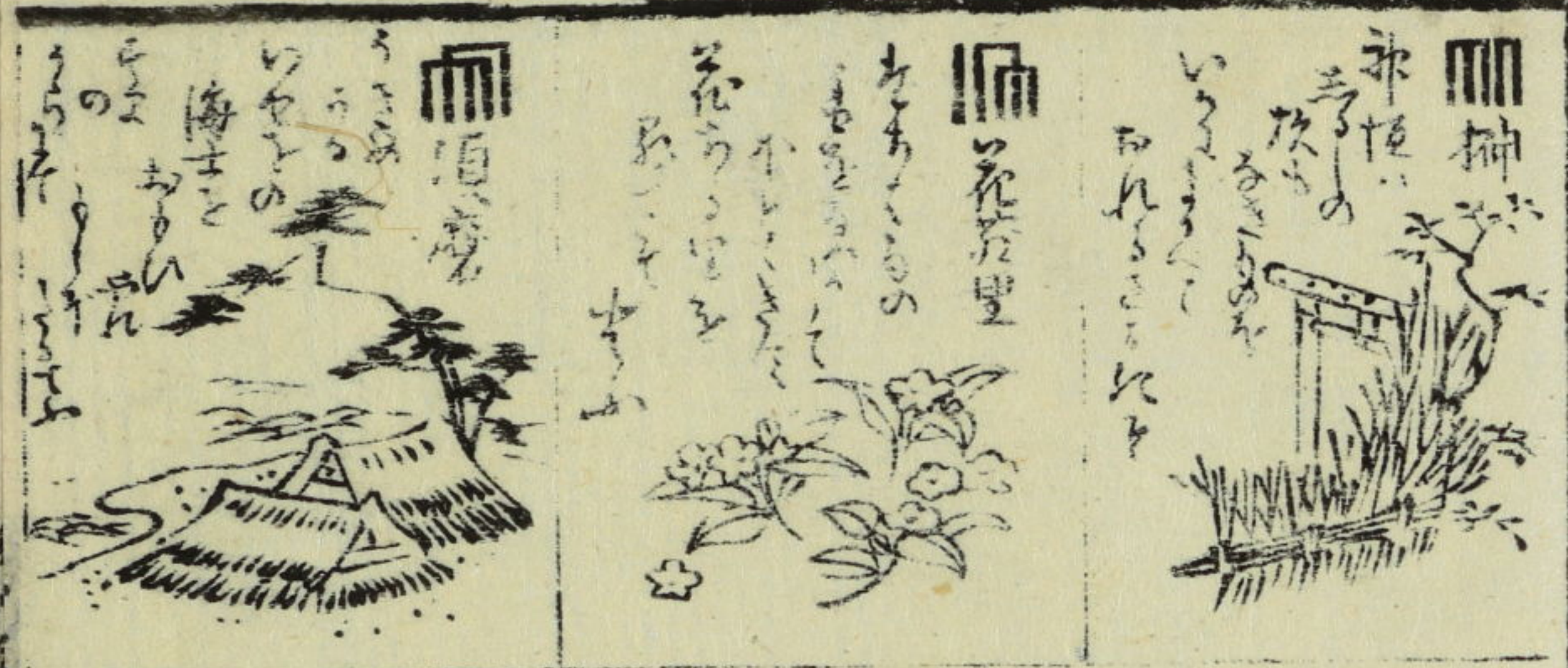
三條左大臣
名所
逢坂
人
来り



<p>右藤原の院女 あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの</p> 	<p>左相模 あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの</p> 	<p>右式部院 あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの あけぼの</p> 
---	--	---

菅家
けさ
ぬき
わり
紅雲
神乃





松風
 物おのり
 松風
 松風



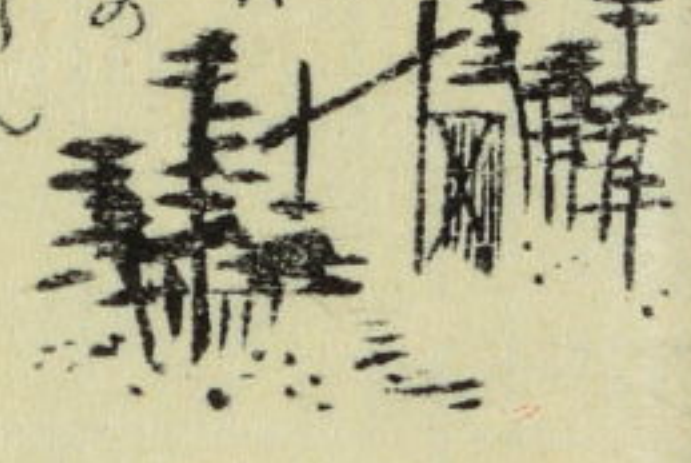
松風
 松風
 松風



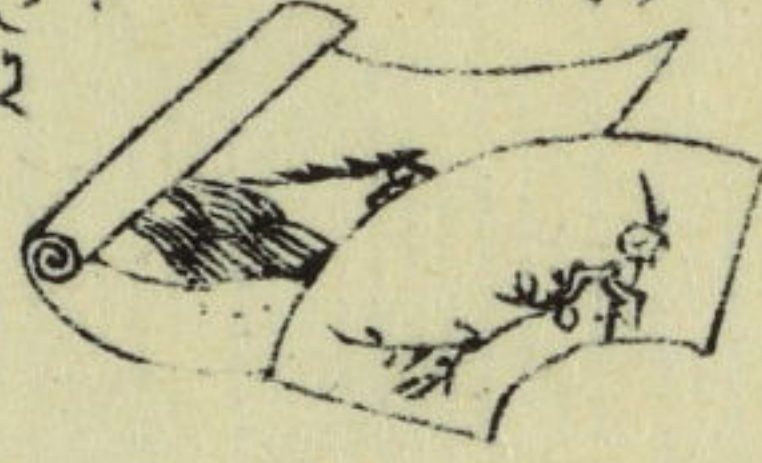
松風
 松風
 松風



松風
 松風
 松風



松風
 松風
 松風

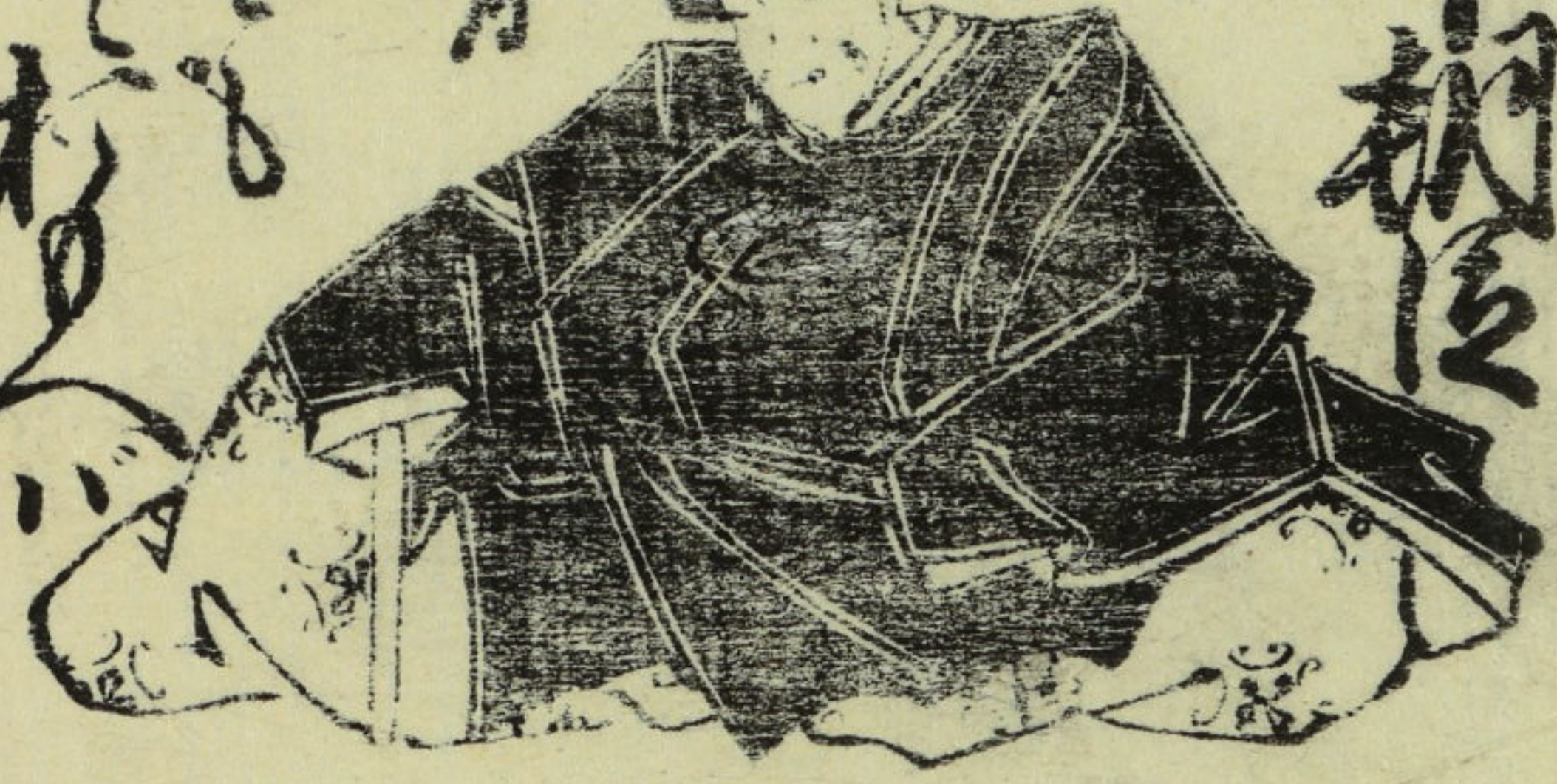


松風
 松風
 松風



松風

源平朝臣
 山實ハ
 冬を
 冬の
 冬を
 冬の



松風

九河内宿
 九河内宿
 九河内宿



松風





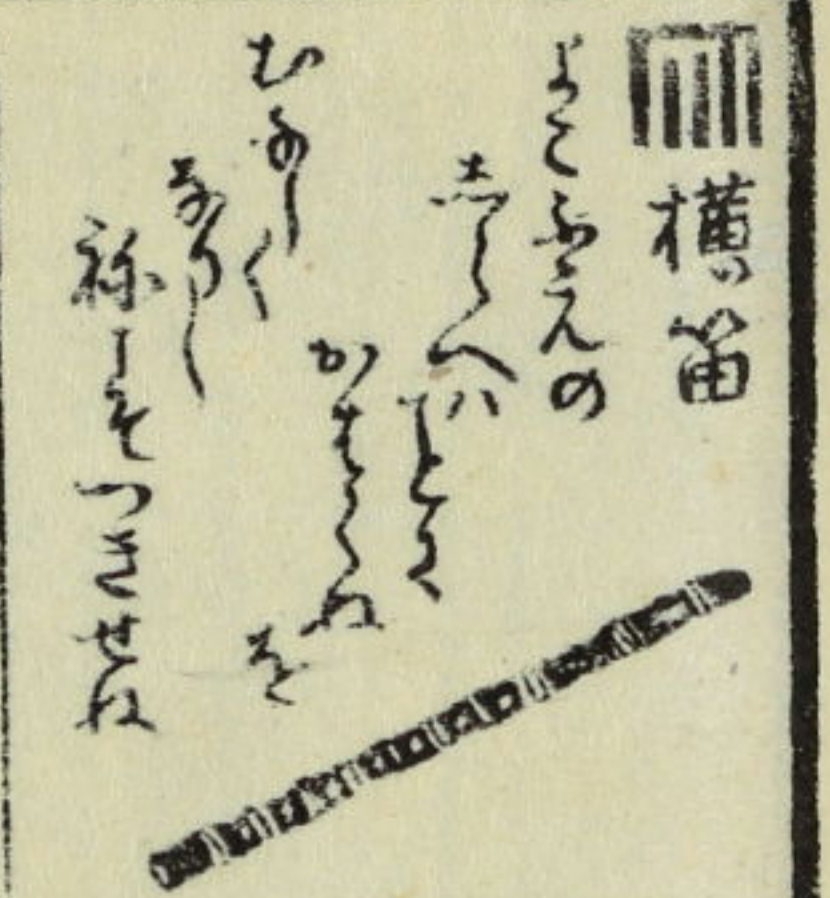
III 明月
秋のよの
月毛の
我らも
雲あり
かたし



III 澤標
あつらひ
あつらひ
あつらひ
あつらひ
あつらひ



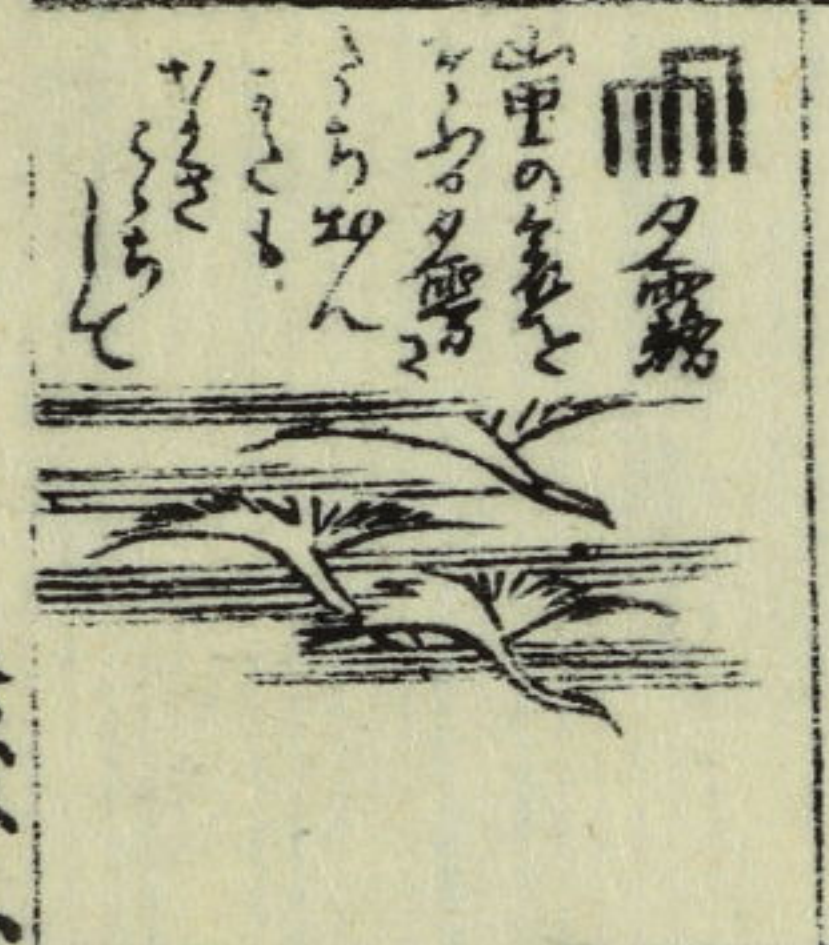
III 蓬生
あつらひ
あつらひ
あつらひ
あつらひ
あつらひ



III 横笛
よこあえの
あつらひ
あつらひ
あつらひ
あつらひ



III 鈴虫
あつらひ
あつらひ
あつらひ
あつらひ
あつらひ



III 雨夕霧
あつらひ
あつらひ
あつらひ
あつらひ
あつらひ

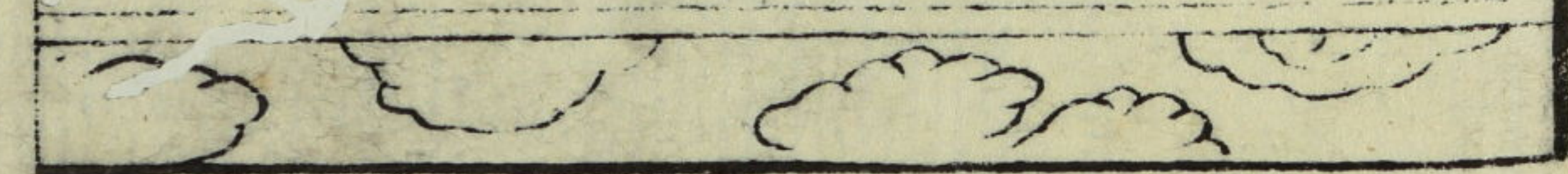
あつらひ



みぶの
まはる
つら
あつらひ
あつらひ
あつらひ
あつらひ



あつらひ
あつらひ
あつらひ
あつらひ
あつらひ
あつらひ



三 虫 聲 へ せ ぞ 牙 と あり ころ せ け ころ せ け ころ せ け ころ せ け

三 常 友 せ ぞ 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百




三 海 火 ころ せ け ころ せ け ころ せ け ころ せ け



三 着 菜 こ ろ せ け ころ せ け ころ せ け ころ せ け

三 柏 木 ころ せ け ころ せ け ころ せ け ころ せ け

三 草 花 ころ せ け ころ せ け ころ せ け ころ せ け

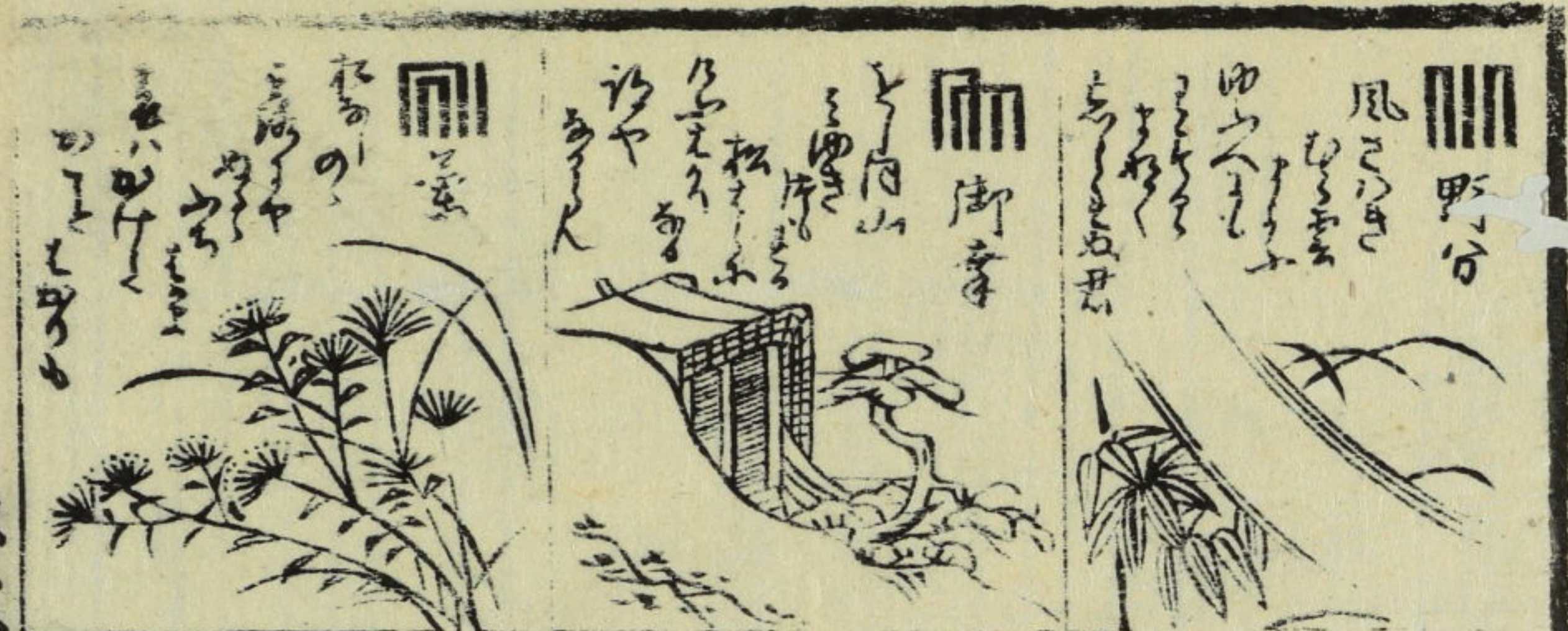


花 友 之 心 貴 之 友 友 之 心 貴 之 友 友 之 心 貴 之

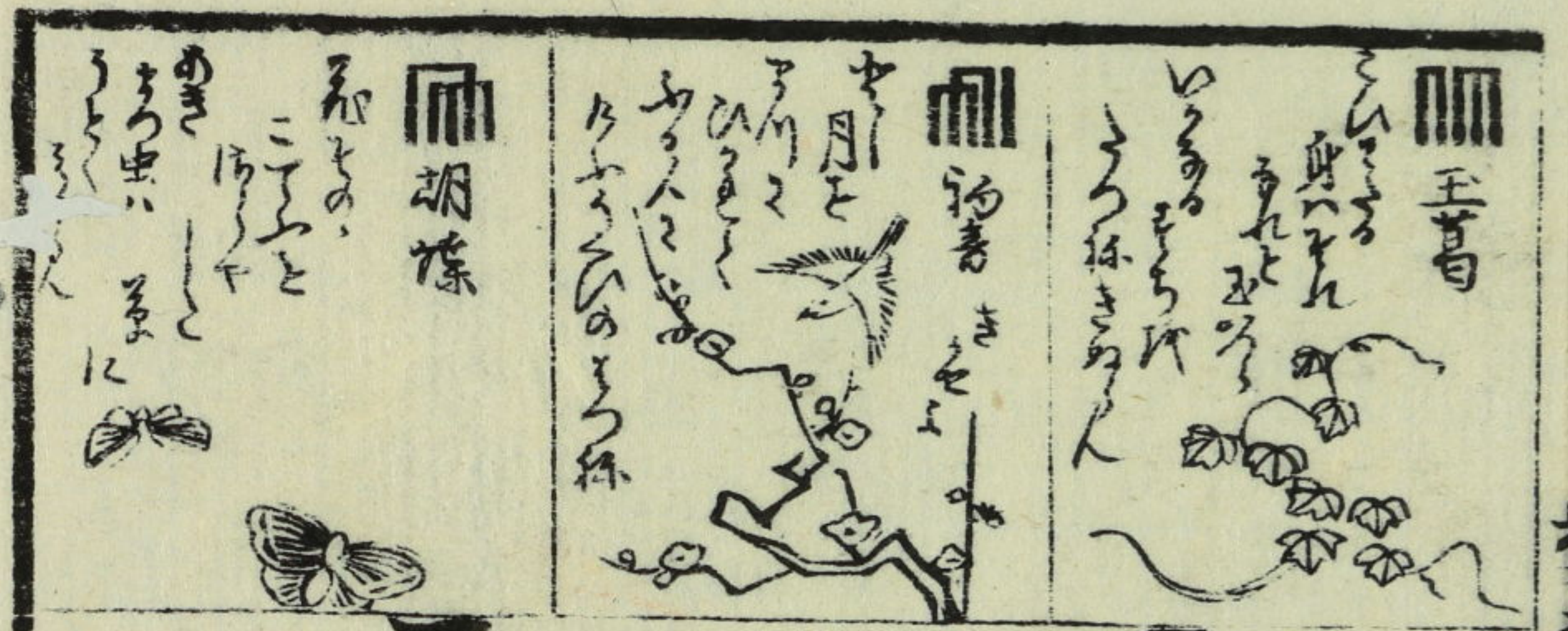
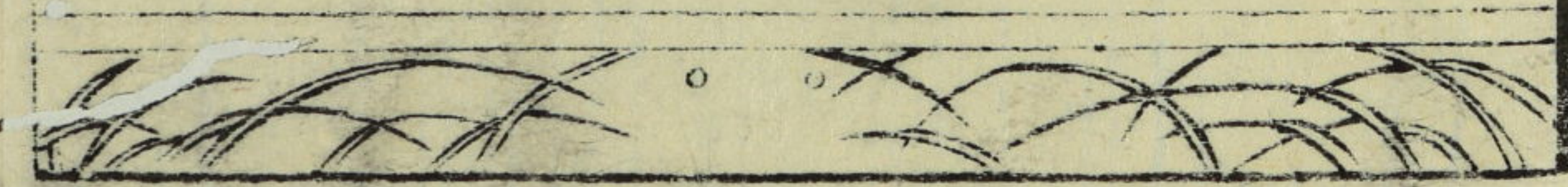


友 友 之 心 貴 之 友 友 之 心 貴 之 友 友 之 心 貴 之

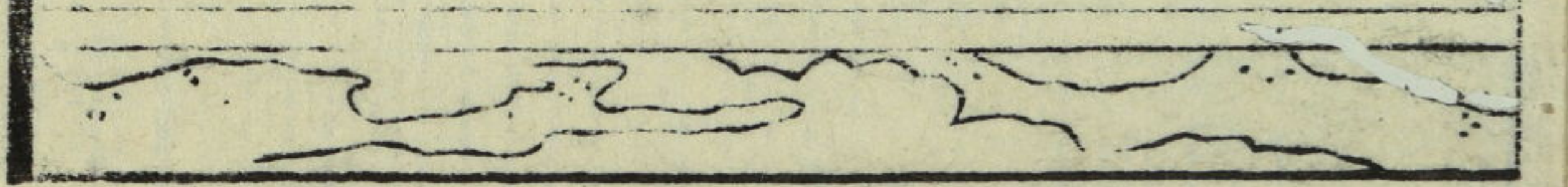




文彦胡麻
 秋の野ハ
 玉ぞちりまなる



雲の
 月
 夕
 夜ハ
 清原春久



薄雲

夕日まはる
あまのなみけ
くさくさい
あまの
いろやま



朝白

見しつうの
手紙を
ねれ
おのの
すま



乙女

よきあそび
あそび
あそび
あそび
あそび



母

あまの
あまの
あまの
あまの
あまの



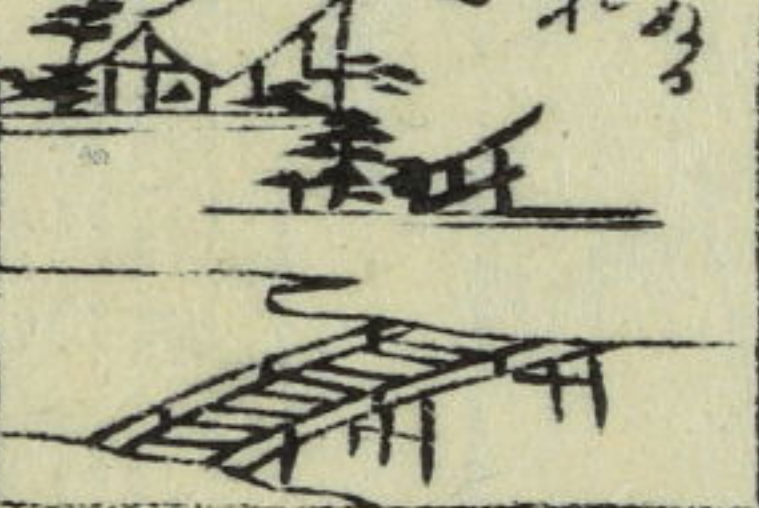
川

あまの
あまの
あまの
あまの
あまの



橋

あまの
あまの
あまの
あまの
あまの



右辺

あまの

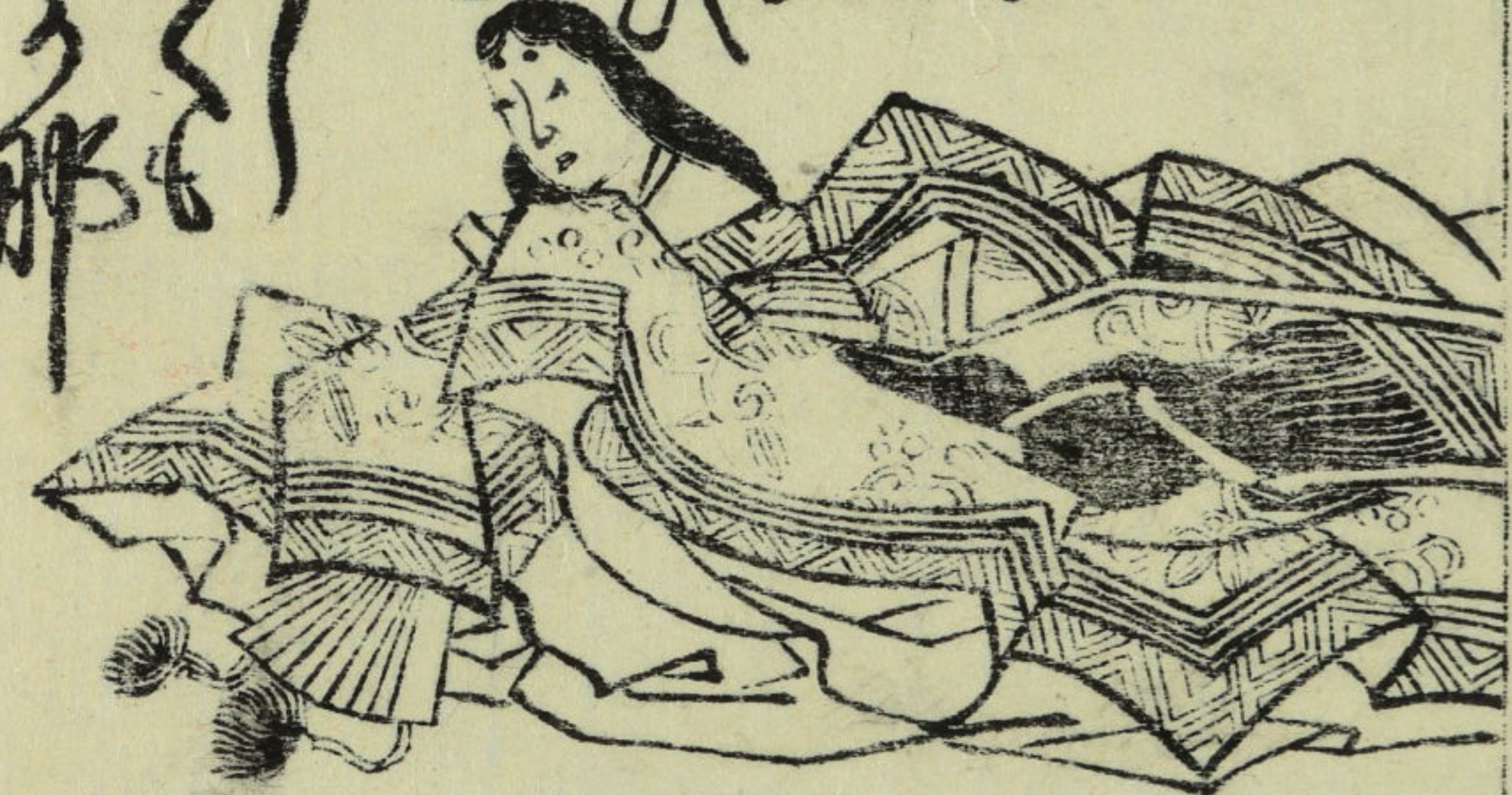
あまの

あまの

あまの

あまの

あまの



氣

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

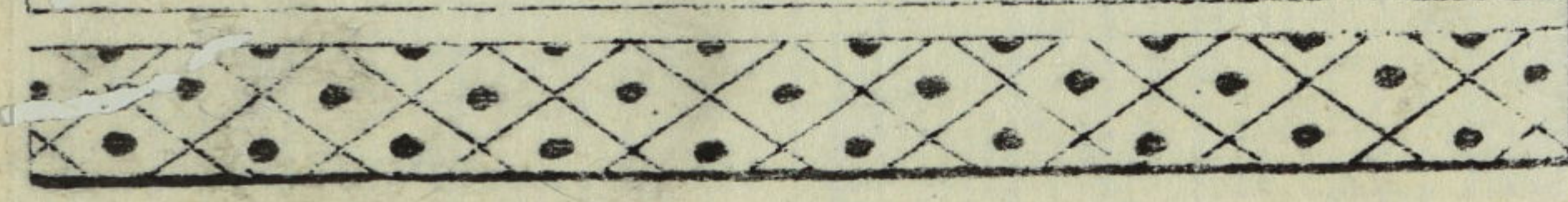
あまの






あまの

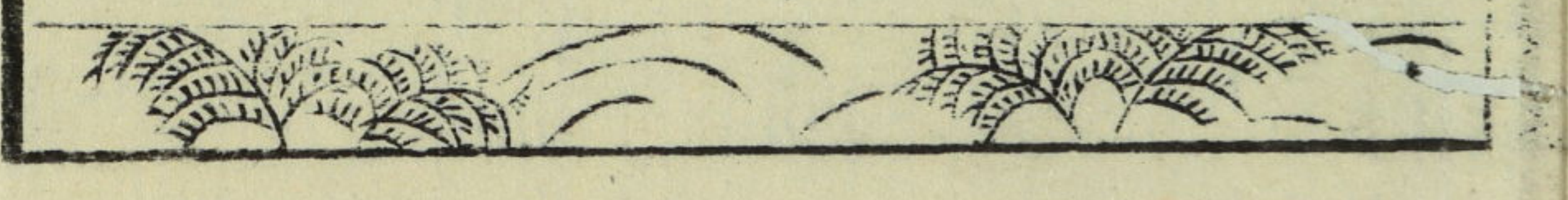
 <p>山 愛持格 のうけしと おもてと おもてと おもてと おもてと</p>	 <p>あつと とれす ゆき ゆき ゆき ゆき</p>	<p>蜻蛉 あつと とれす ゆき ゆき ゆき ゆき</p> 
--	---	---

みづの
まは思見
あひすさ
秋夜と
まじり
きあ
ひとに
おひそめしに

<p>早蕨 あつと とれす ゆき ゆき ゆき ゆき</p> 	<p>総角 あつと とれす ゆき ゆき ゆき ゆき</p> 	<p>推本 あつと とれす ゆき ゆき ゆき ゆき</p> 
---	---	---

平兼威
思入まで
いかな
山より
秋夜と
まじり
きあ
ひとに
おひそめしに

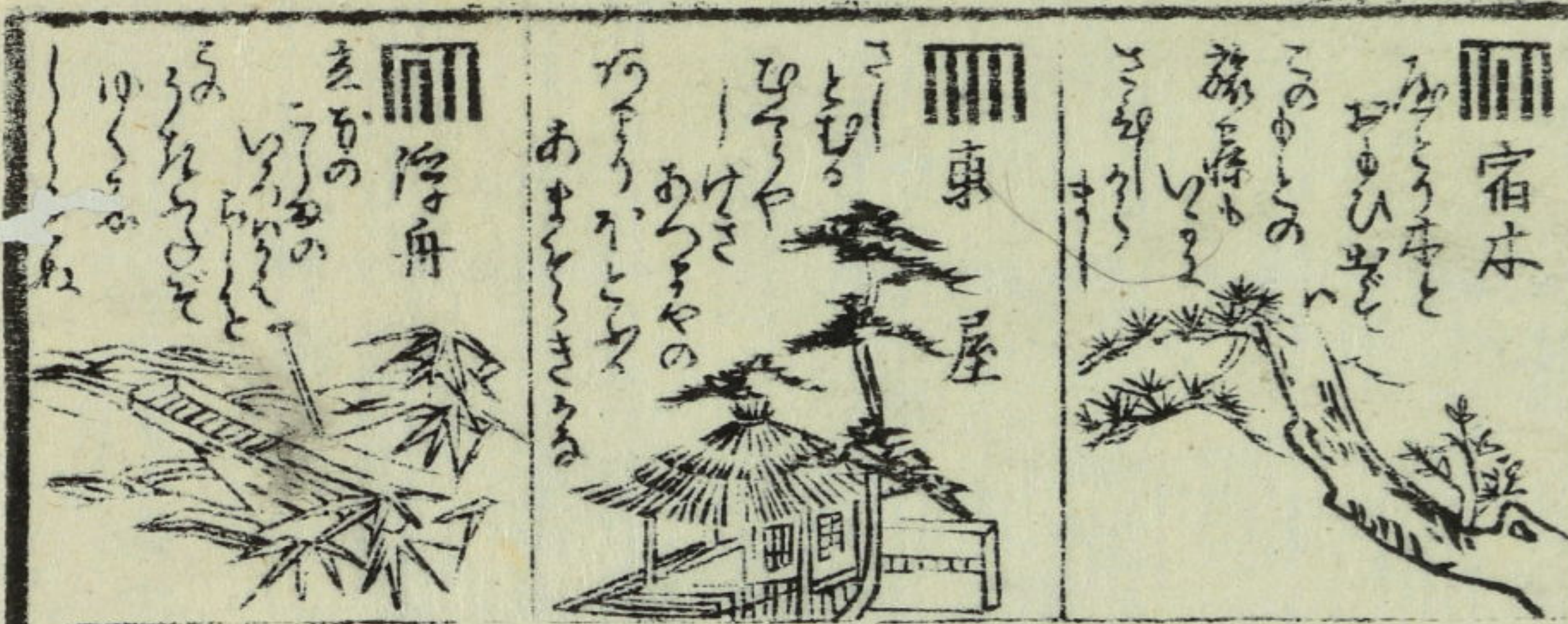
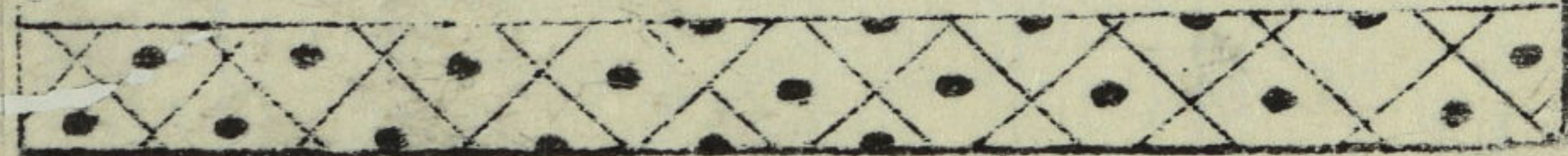


あまの

中納言の
 のひんごの
 後の家
 金
 書
 物
 あり



三



清原元輔
 笑
 か
 神
 志
 す
 波



差うしなひ
 中納言天守り
 ろを身られたる
 ちりぞく天守り
 とれを君り用ひ
 らましく友母の
 天守りあがり
 ひろくもなつと
 見え六富まる
 一方の花と
 とれ百人の
 ありさうさ
 とれ六の



中納言
 客事
 みる
 みる
 みる
 みる

まうく
 蓮花を
 君の位
 公果と
 松と
 壽命を
 日月と
 人母と
 乃を
 一羽



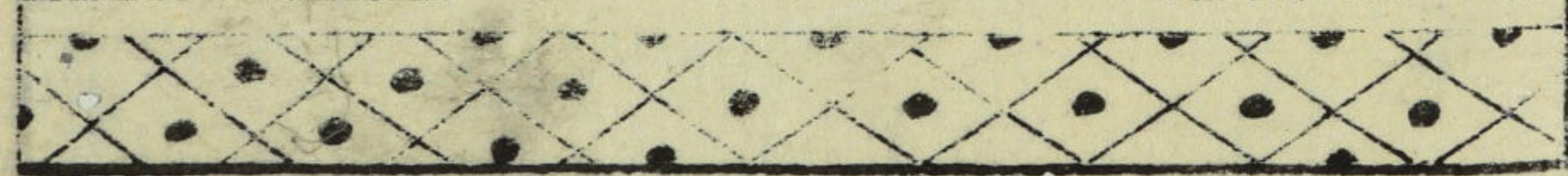
孫徳公
 人
 ありぬ

▲神乃やしちしね
 ひとしとれを福壽
 命をたりしとるの
 と見れハ官禄ゆる
 ▲瑞ふととあつくと
 見れハ万人の作
 ▲地震のゆとと見れ
 け倫をいしんぬる
 ▲火東あつと見れ
 多美乃相かり
 ▲風ふとと見れ
 牛ふとと見れ
 内り雲の

▲火の
 火の
 火の
 火の
 火の
 火の
 火の
 火の
 火の
 火の

本陣に徳室が居
 沖恒守
 湯太のそく
 火の
 夜の
 直いまつ
 の瓜
 あり

源重光
 か場
 考
 の
 け
 あり





海へ入ると身をば何
 ちよとんふふふと
 大なる命を
 命を
 命を
 命を
 命を

なまの義孝
 命を
 命を
 命を
 命を
 命を

あり地り伏しと
 酒食をわく
 ありと
 見まは
 ありと
 ありと
 ありと
 ありと
 ありと

なまの義孝
 命を
 命を
 命を
 命を
 命を

一 夫婦のちえつは
 乃と見れば万の
 知ふけふ女房夫工
 高ひくるとは自ら
 ぬま乃えんつとぞ
 打ととるまうり

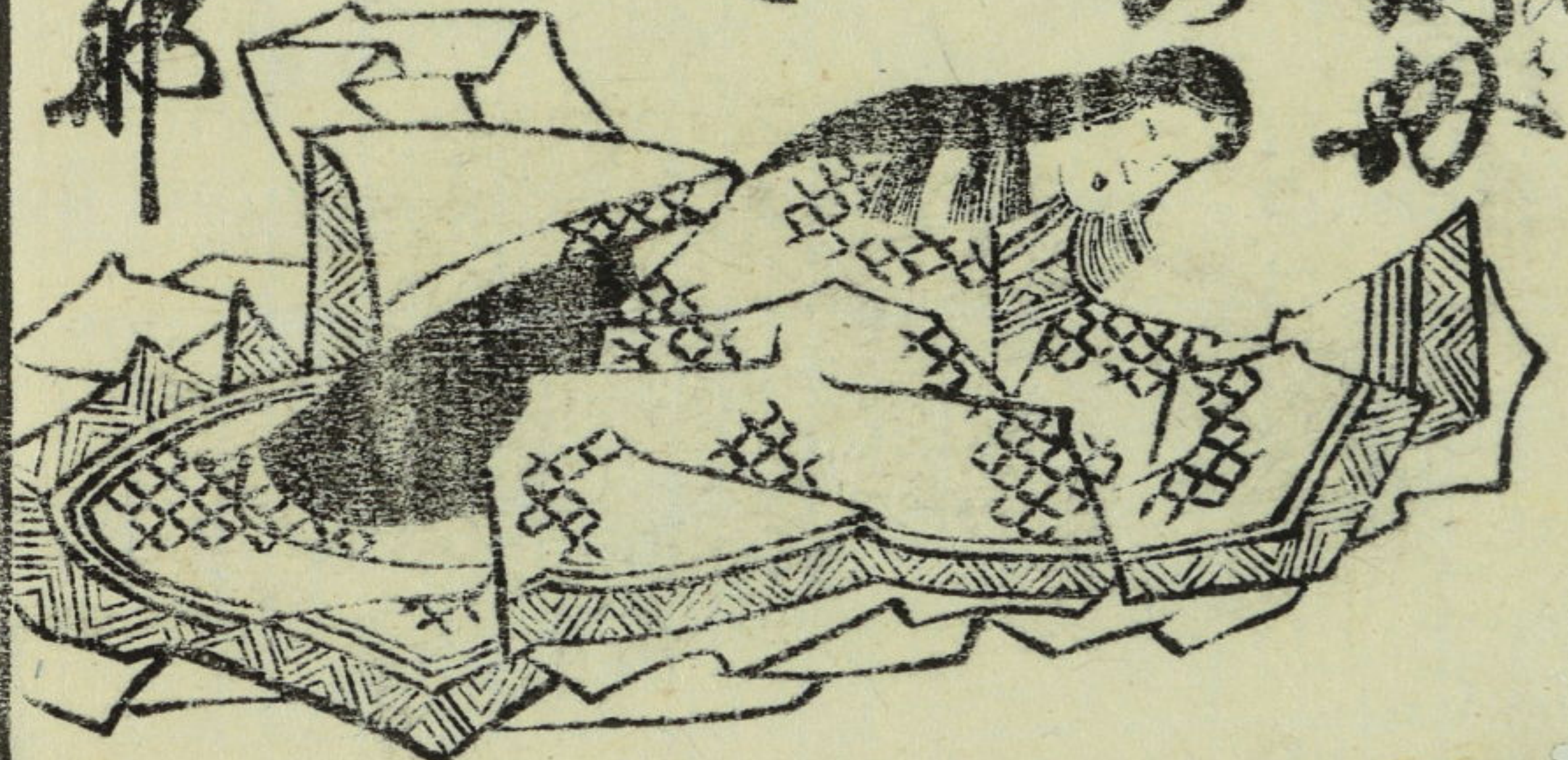


一 夫婦のちえつは
 乃と見れば万の
 知ふけふ女房夫工
 高ひくるとは自ら
 ぬま乃えんつとぞ
 打ととるまうり

大納言公に
 池のほとり
 きて
 久くさる
 名を
 かくまはせ
 かくまはせ
 かくまはせ



後園二回
 日すまの
 り未
 大
 命の
 の那



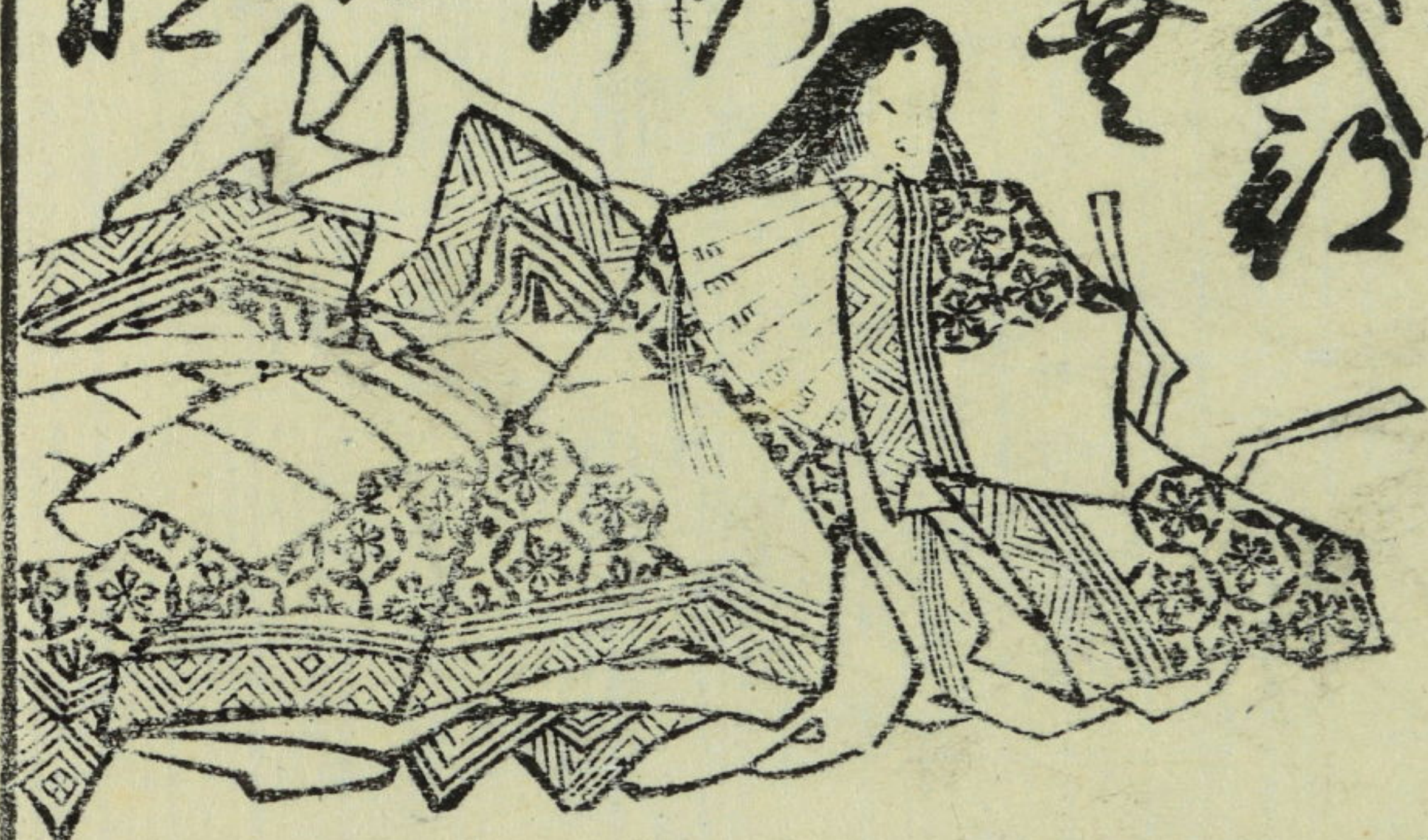
一 夫婦のちえつは
 乃と見れば万の
 知ふけふ女房夫工
 高ひくるとは自ら
 ぬま乃えんつとぞ
 打ととるまうり

一 夫婦のちえつは
 乃と見れば万の
 知ふけふ女房夫工
 高ひくるとは自ら
 ぬま乃えんつとぞ
 打ととるまうり

こころなきうしろ
あつはをかくる人も
よー山依あやと
いぢいふぬと全あ
一枚さつひ狸いあ
乃るを見れば病あ

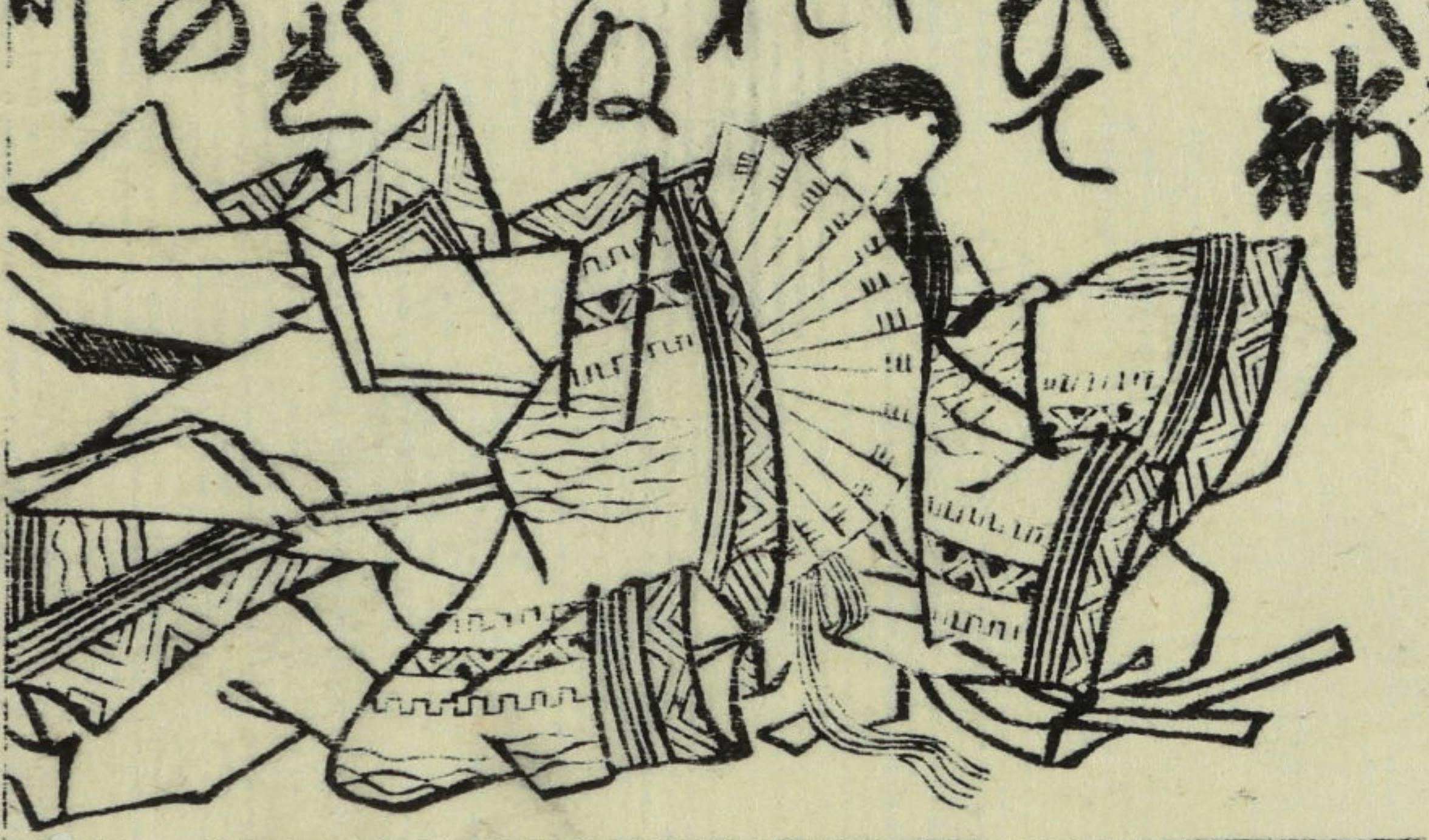


和歌本武部
わらわの
はせの
ひとひの
のみもの
ぐら

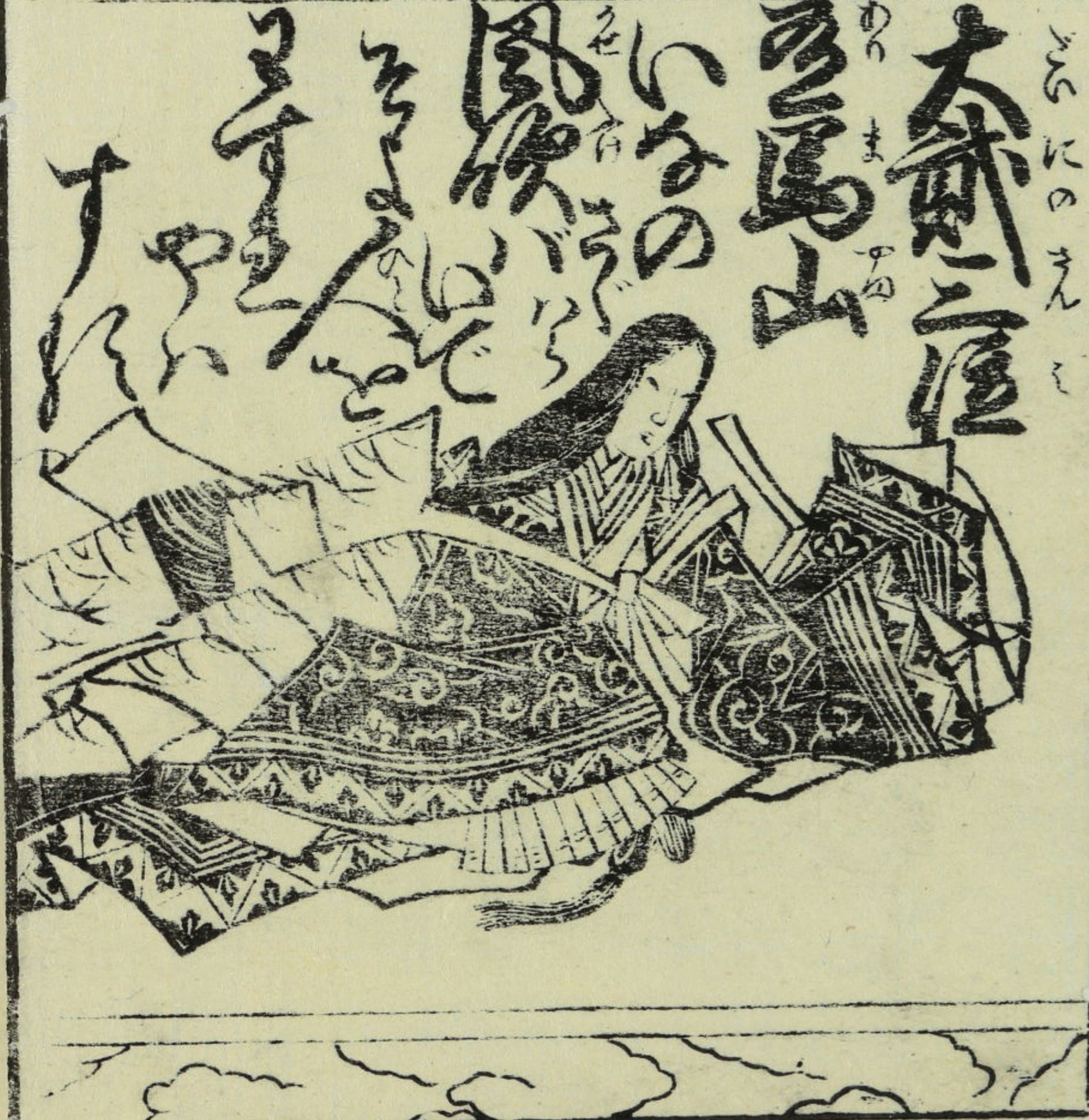


あつはをかくる人も
よー山依あやと
いぢいふぬと全あ
一枚さつひ狸いあ
乃るを見れば病あ

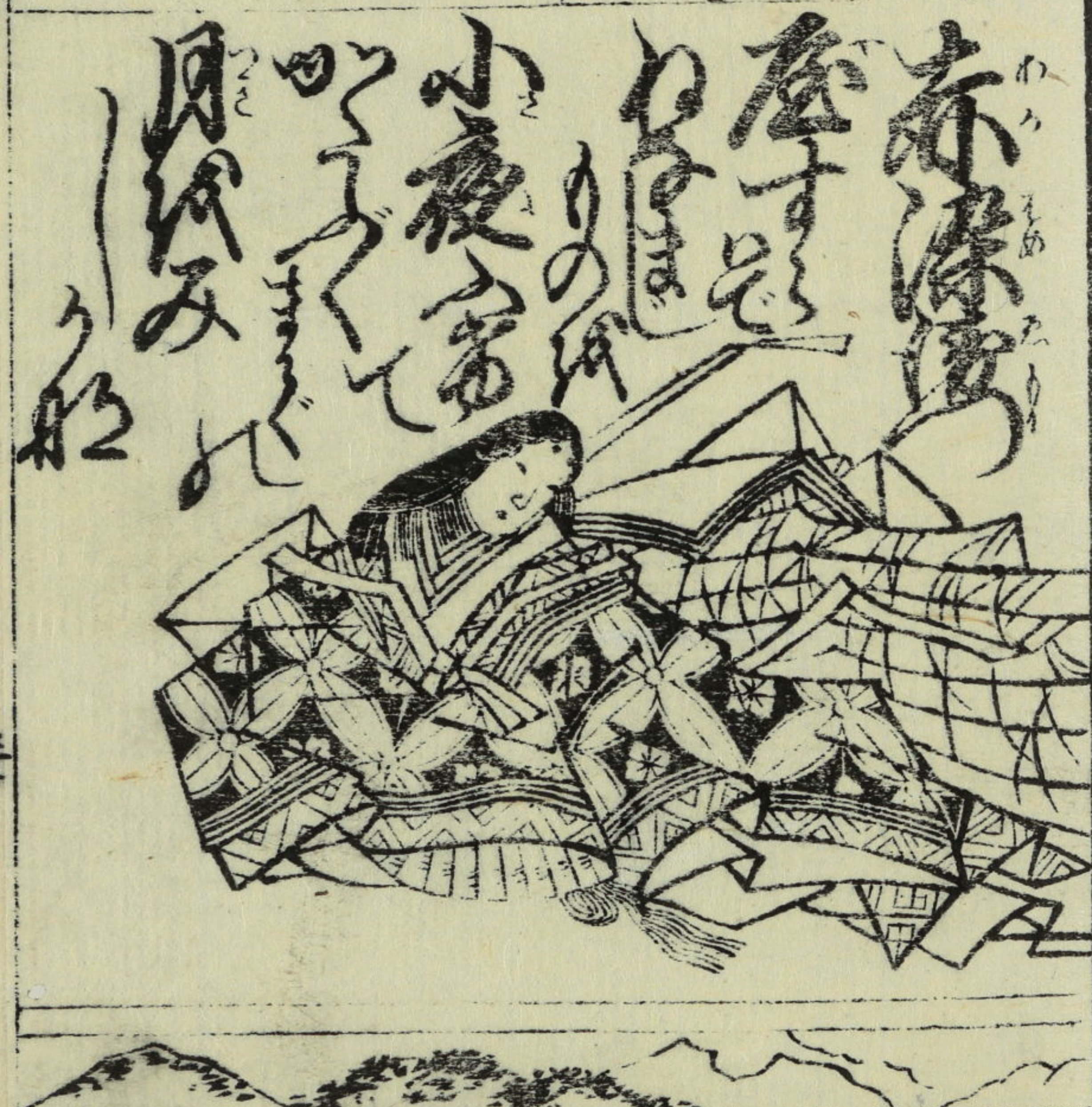
和歌本武部
わらわの
はせの
ひとひの
のみもの
ぐら



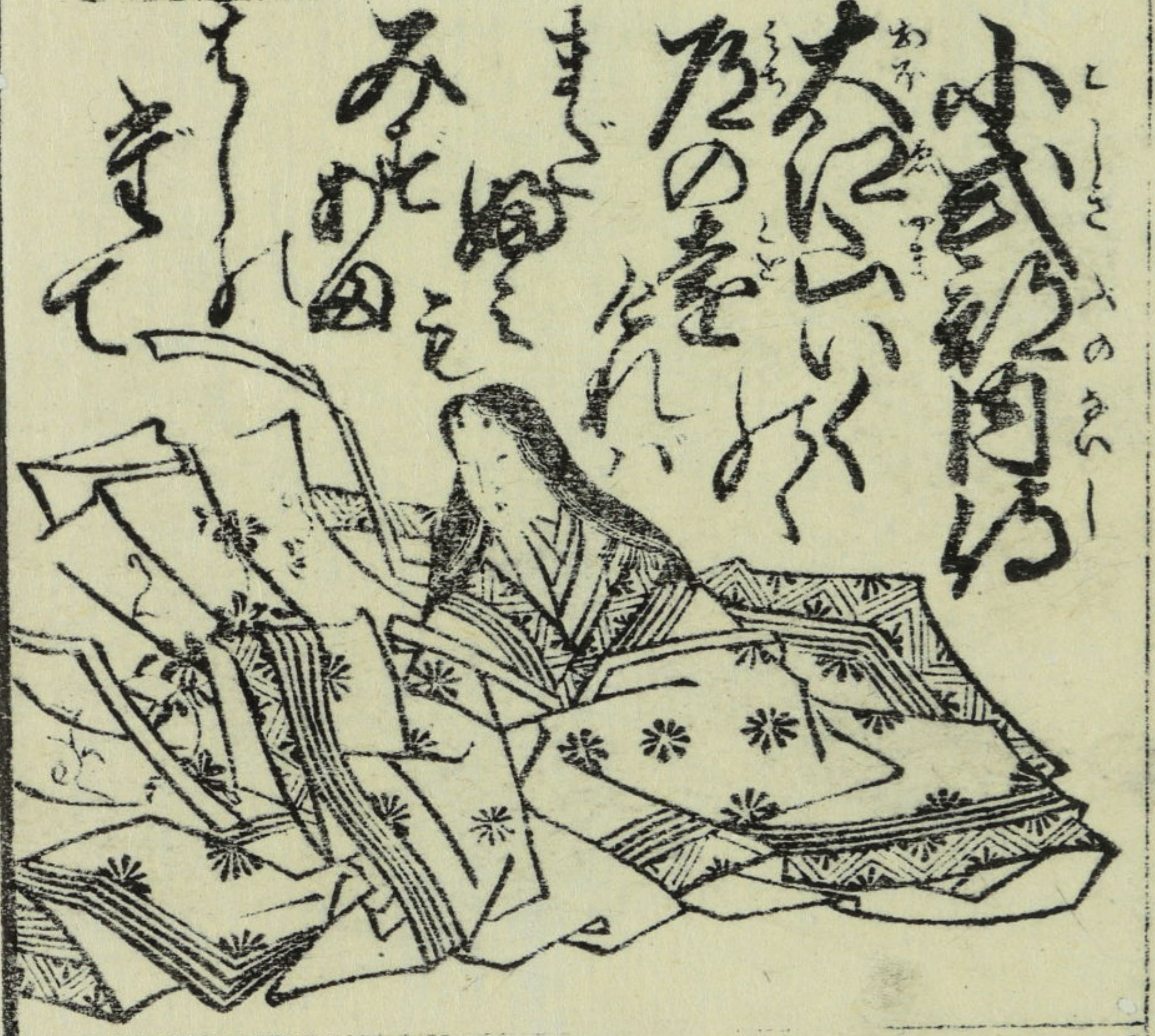
一 糞乃本とくると
 見れを富きま
 一 桶ふひきくと
 とくをえんそ
 えんあり一 糞をれ
 仏神の加こと
 一 糞ををろこと
 一 糞をまら食
 とれを何とも長
 命はつこと
 一 糞をまら食
 とれを何とも長
 命はつこと



食とれを病の
 とくびと
 おれ落
 母
 一 首毛ぬける
 一 糞をまら食

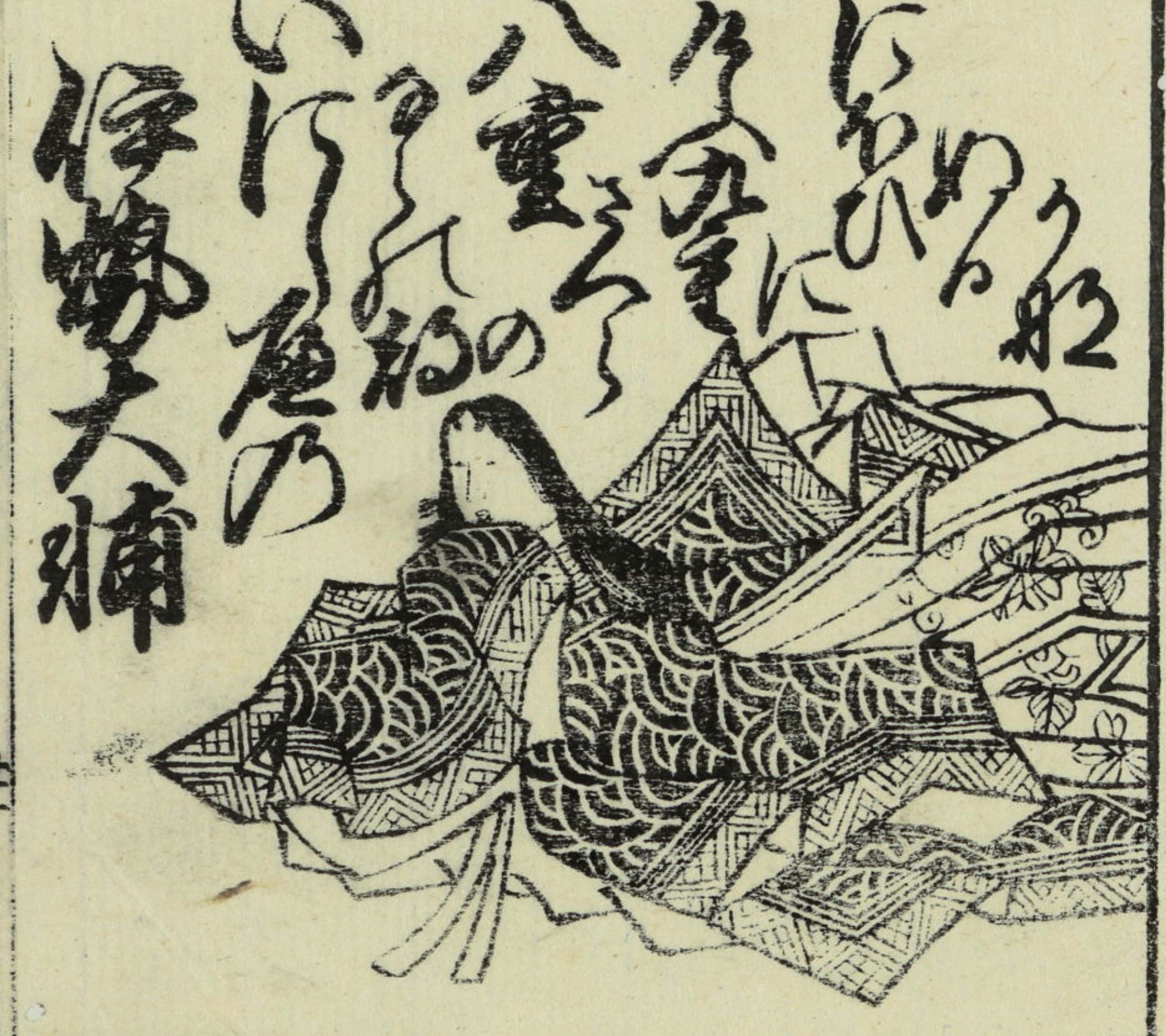


▲法障りたるを
 命を
 ▲木のこたえを
 入
 ▲蛇家の内小
 命
 ▲神も
 文生
 ▲まこと
 命
 ▲蛇家の内小
 命
 ▲神も
 文生



武蔵の
 大に
 及の
 みる
 きて

▲まこと
 命
 ▲蛇家の内小
 命
 ▲神も
 文生
 ▲まこと
 命
 ▲蛇家の内小
 命
 ▲神も
 文生



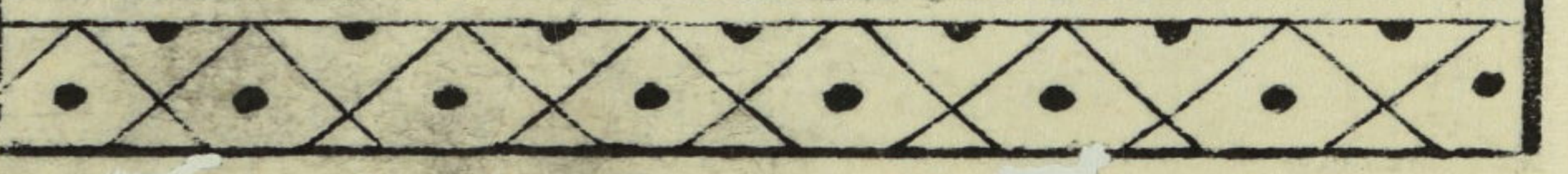
武蔵の
 大に
 及の
 みる
 きて

魚介の人は病
 一女冠とある
 一とれ八重とある
 のく又浮花とある
 一人より扇とある
 と目入れとある
 一とあり一わさ
 落とととととと
 一と一と一一金銀
 米粥 粥 粥
 一と一と一と一と
 地とととととと

陸方納を
 秋とこのあ
 一ののそ
 ね計の
 由ふの
 さうれ
 実いれ
 きたり



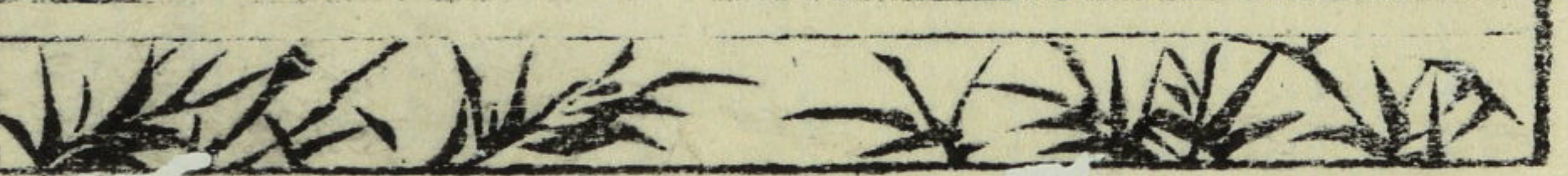
牛のさうととと
 一車よのるとと
 一白たまるとと
 一白くるとと
 一とととととと
 一とととととと
 一とととととと
 一とととととと
 一とととととと
 一とととととと



三つあひのたそよ
 らん徳ありてお
 思ふさうさうさ
 まのうたふれん神
 身満ち一休さ
 まてあふりし
 富ち山成と徳
 のありとふりし
 〇中めさめてのち
 悪夢着草木
 初夢成珠玉
 右にふくとさす

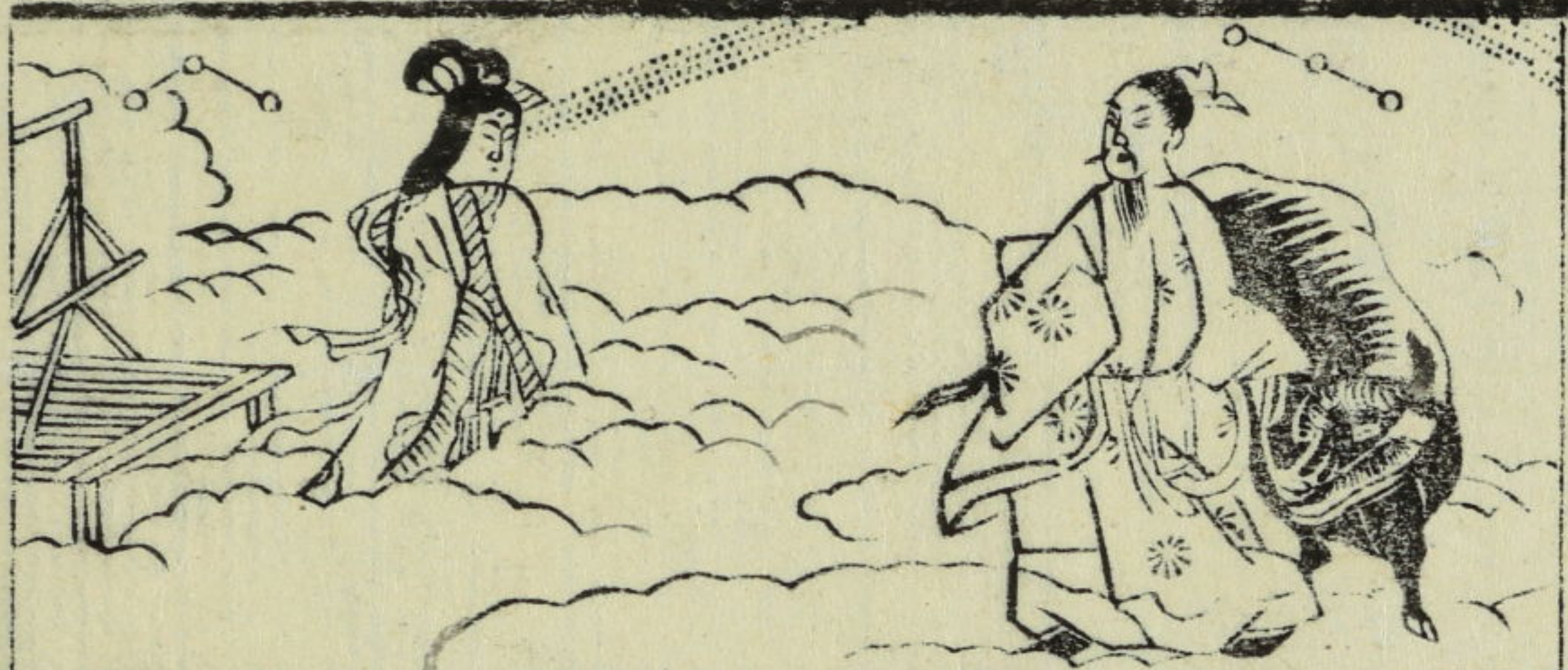


清洲
 花にとおわたり
 ちさとあしのみ
 所とおひや
 推刀とおけこれ
 大根とくらみの
 せんことあらし
 さんこといしく
 てんことあてん
 けことおたふさ
 帯とおひり
 舞とおかた
 名とおひり
 粟とおま



三

三



七夕あはれし

かみきりとおくろ
 朱と うちまに
 酒と 九とん
 そとんをそふとふ
 あまをそあつとふ
 うさつとつひま
 けあをひもとの
 けあをそあま
 あちと けあ
 まらちとあら
 そとんととら
 えあんとけん
 たいとひと
 そとをひらる

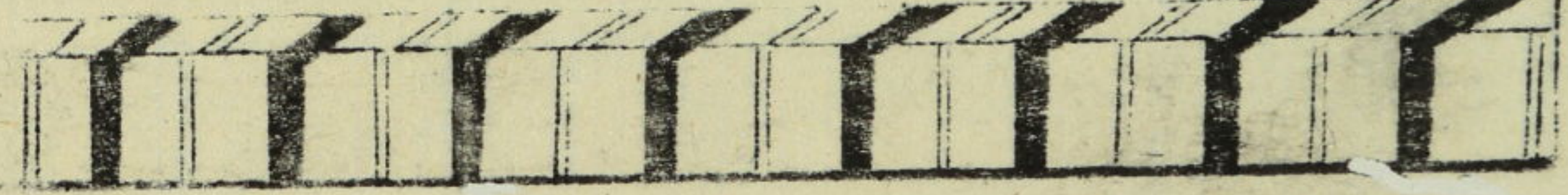
周防の
 森の
 夏
 手枕
 舟
 舟

山櫻
 舟
 舟
 舟

<p>うらーか いとれ乃 あまの あまの あまの</p>	<p>あまの あまの あまの あまの あまの</p>	<p>あまの あまの あまの あまの あまの</p>
--	--	--



<p>あまの あまの あまの あまの あまの</p>	<p>あまの あまの あまの あまの あまの</p>	<p>あまの あまの あまの あまの あまの</p>
--	--	--



秋の
おの
まの
まの
まの
まの
まの
まの
まの

これこそ
おの
まの
まの
まの
まの
まの
まの
まの

おの
まの
まの
まの
まの
まの
まの
まの

良選法師

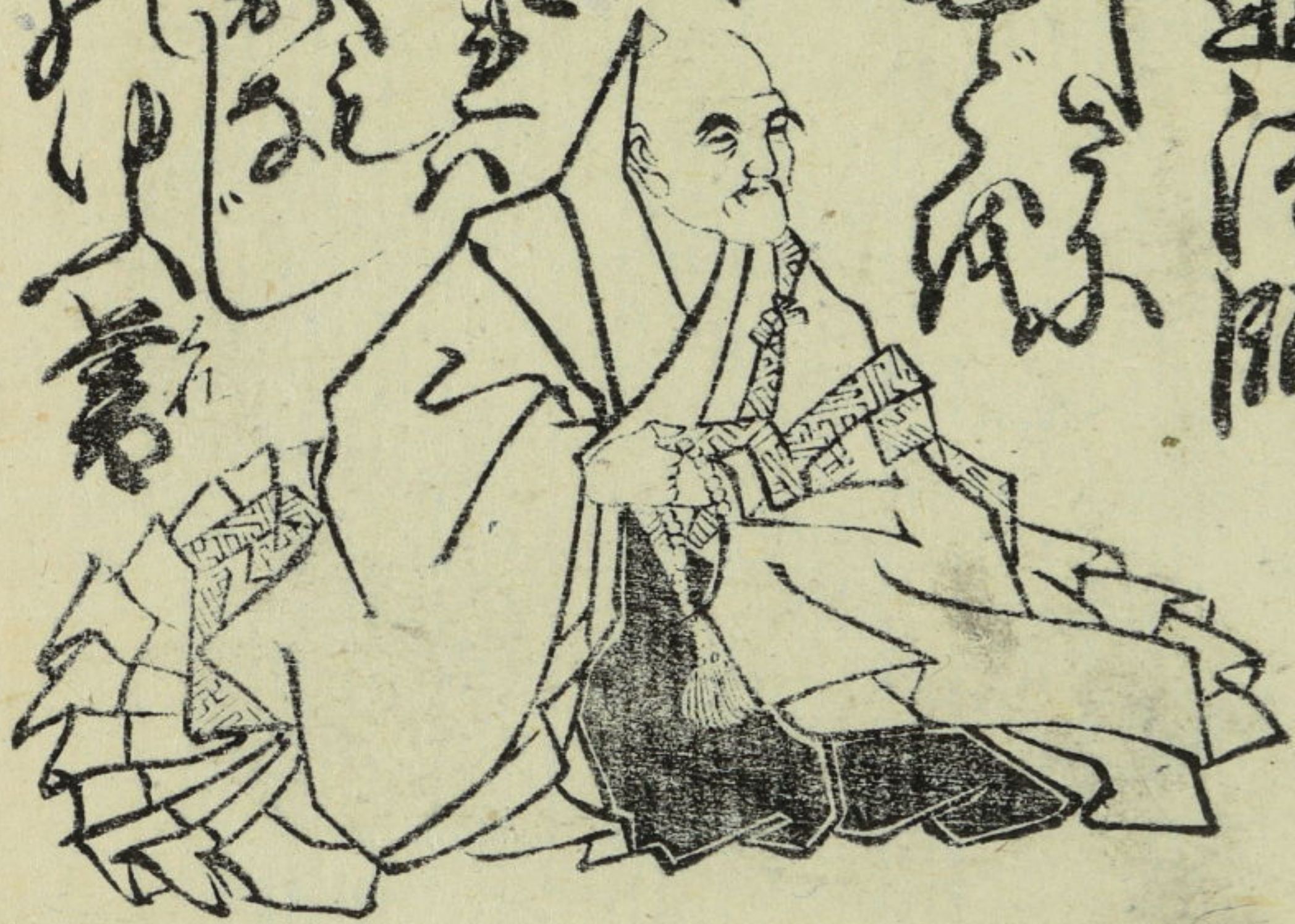
あつた
おの
まの
まの
まの
まの
まの
まの

いぞり
おの
まの
まの
まの
まの
まの
まの

あつた
おの
まの
まの
まの
まの
まの
まの

いぞり
おの
まの
まの
まの
まの
まの
まの

あつた
おの
まの
まの
まの
まの
まの
まの



大納言経信

いぞり
おの
まの
まの
まの
まの
まの
まの

あつた
おの
まの
まの
まの
まの
まの
まの

いぞり
おの
まの
まの
まの
まの
まの
まの

あつた
おの
まの
まの
まの
まの
まの
まの

あつた
おの
まの
まの
まの
まの
まの
まの



おの
まの
まの
まの
まの
まの
まの
まの

あつた
おの
まの
まの
まの
まの
まの
まの

いぞり
おの
まの
まの
まの
まの
まの
まの

ひこやい
ほるま
つり
かひ
や
らん

この川
七夕の
あふ
は
あけぬ

あ
の川
風
何
あ
あ
あ

うま
の
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ
あ

たれ
あ
あ
あ
あ

崇徳院

あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ



あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ



あ

あ

あつ終
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ

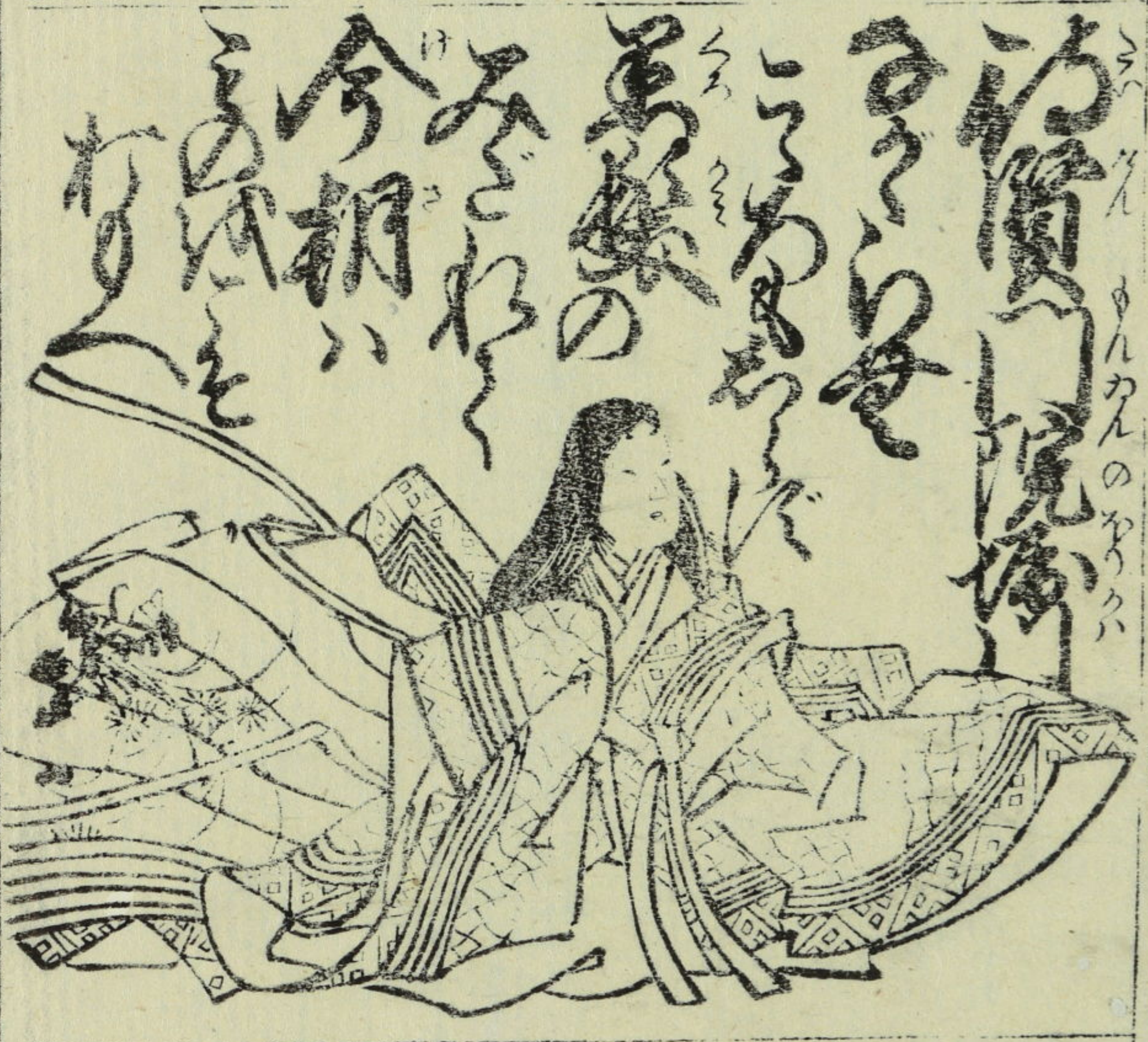
月々
あつ終
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ

あつ終
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ

あつ終
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ

あつ終
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ

あつ終
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ



あつ終
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ



あつ終
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ
まよ

ちのふも
 あたのつまの
 なまらん

け乃乃あ
 いの
 けの
 ても

乃の
 乃の
 乃の

道園法師
 ちのふも



ありの川
 あふせの
 ちの
 ちの

神谷
 ちの
 ちの
 七々々

ちのたの先
 ちの
 ちの
 ちの

道園法師
 ちの
 ちの



七々々

七々々

七々々

七々々

これこそ乃
 りがり 妻乃
 長 子乃 人
 なる

わが 此川
 やあ おのり
 りの 我や
 なる

男木女全婚

男木女全婚
 隠匿子二人世々
 男木女全婚
 隠匿子二人世々

子二人世々の事
 男木女全婚
 隠匿子二人世々
 男木女全婚
 隠匿子二人世々
 男木女全婚
 隠匿子二人世々
 男木女全婚
 隠匿子二人世々

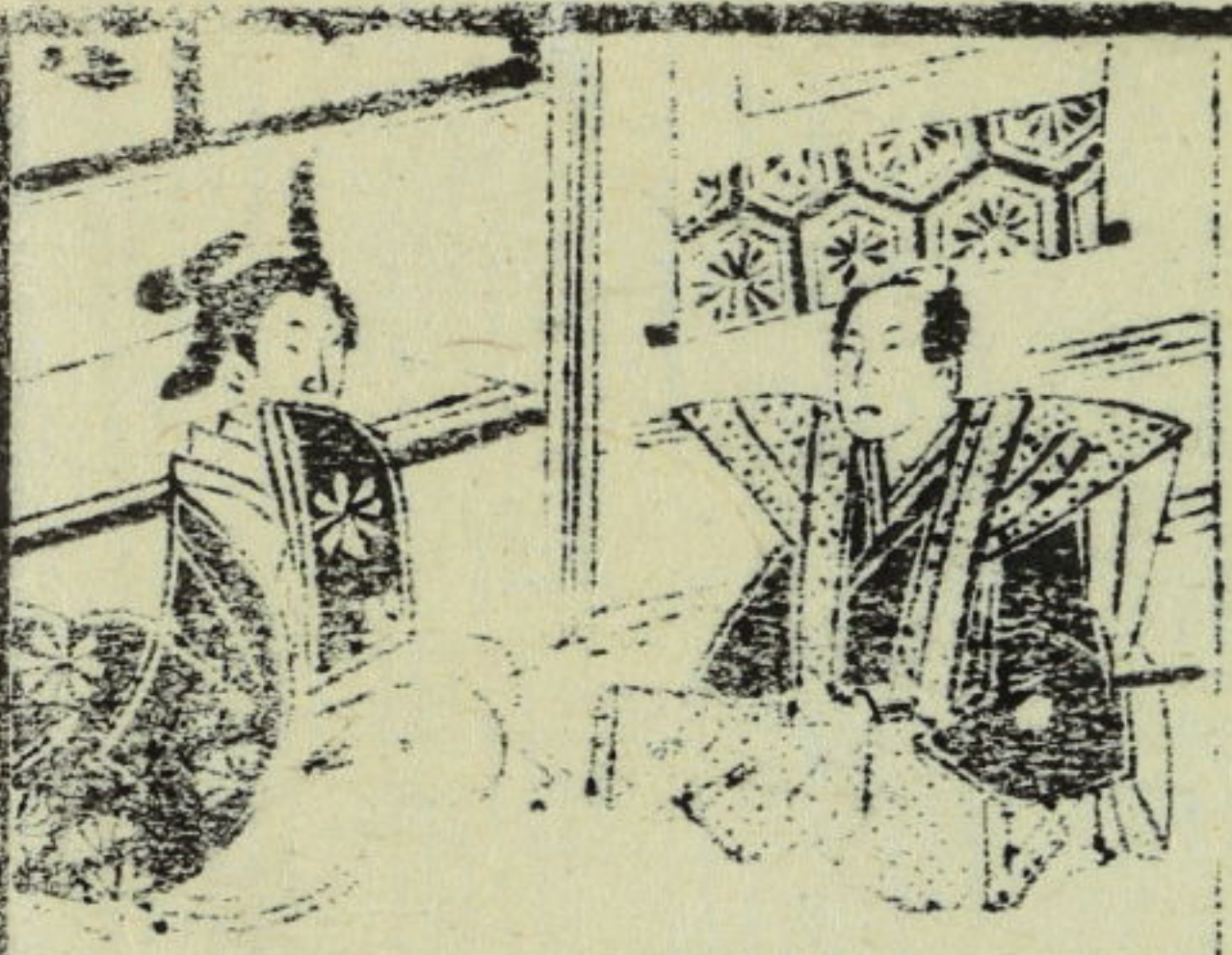
この
 夜
 今

夜
 今
 園

三十一

富貴の延命の氏
神代作の延命の氏
まご母あんな

○男火女火
子侍の延命の氏
くひんわり



西の法師

さかきとて

月やま

まのび

あはす

あはす

あはす



三十二

○男火女土 大者

子三人多し人の氏

富貴の延命の氏

をまんとす人の氏

○男火女木 若

子二人り七人の氏

富貴の延命の氏

○男火女金 大者

子二人り三人の氏

富貴の延命の氏

○男火女水 大者

子二人り三人の氏

富貴の延命の氏

西の法師

ひる雨の

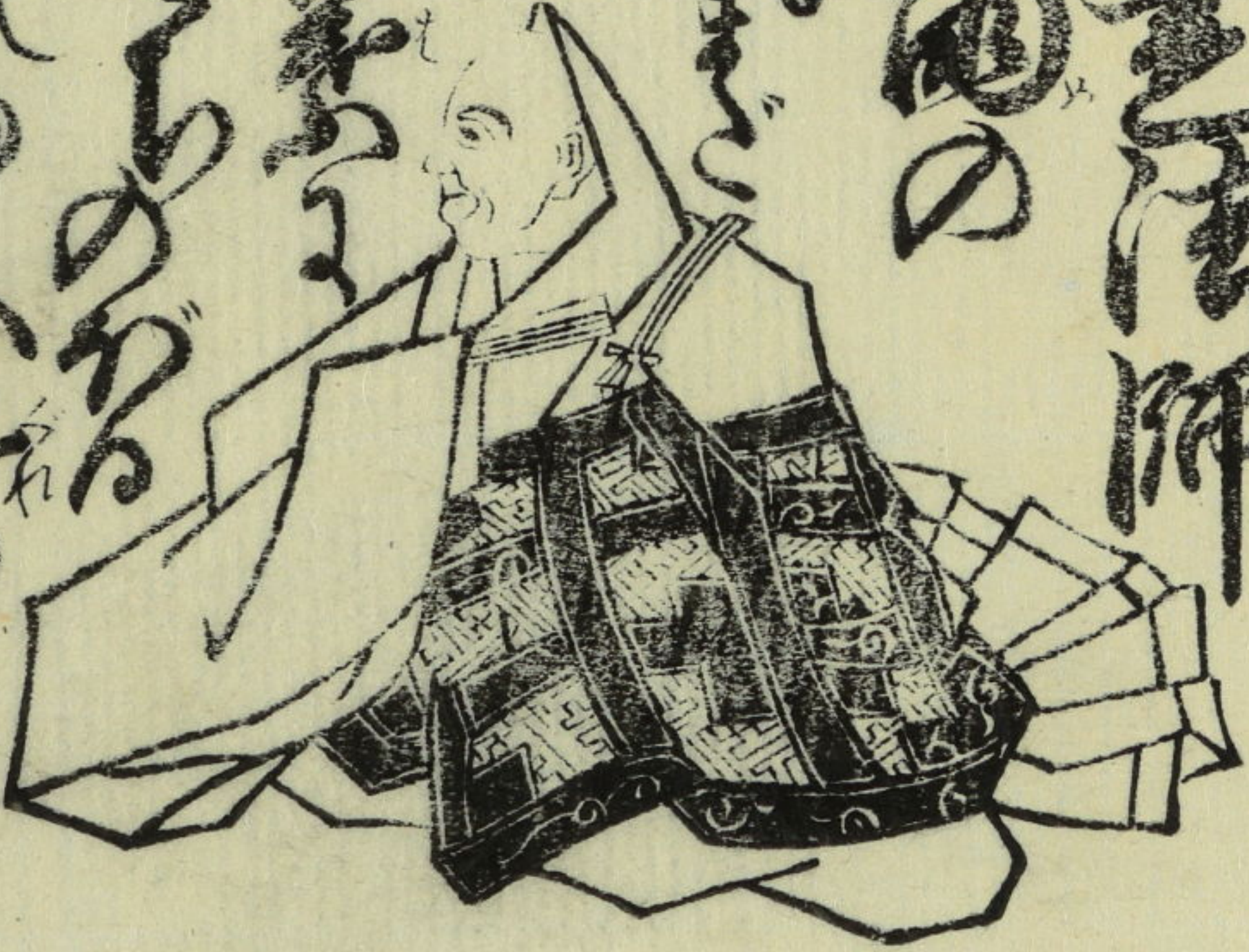
あはす

あはす

あはす

あはす

あはす



三十三

三十四

中がりくろくさつ
とせ

○男土女土 土事者

始りて後

子三人あり何れも

んふうなるむら

なく病ひ多し

○男土女金 大老

子五人ありてんふ

けり種事者なり

加まど乃非ともつ

金一万余ありてん

子六人あり何れも
んかろむおとろ
とせ
いふ
いふ



○男土女火 大老
子八人ありてん

疾りて
一月七下
一夜の
り孫の
の
難波乃



皇太后院別当

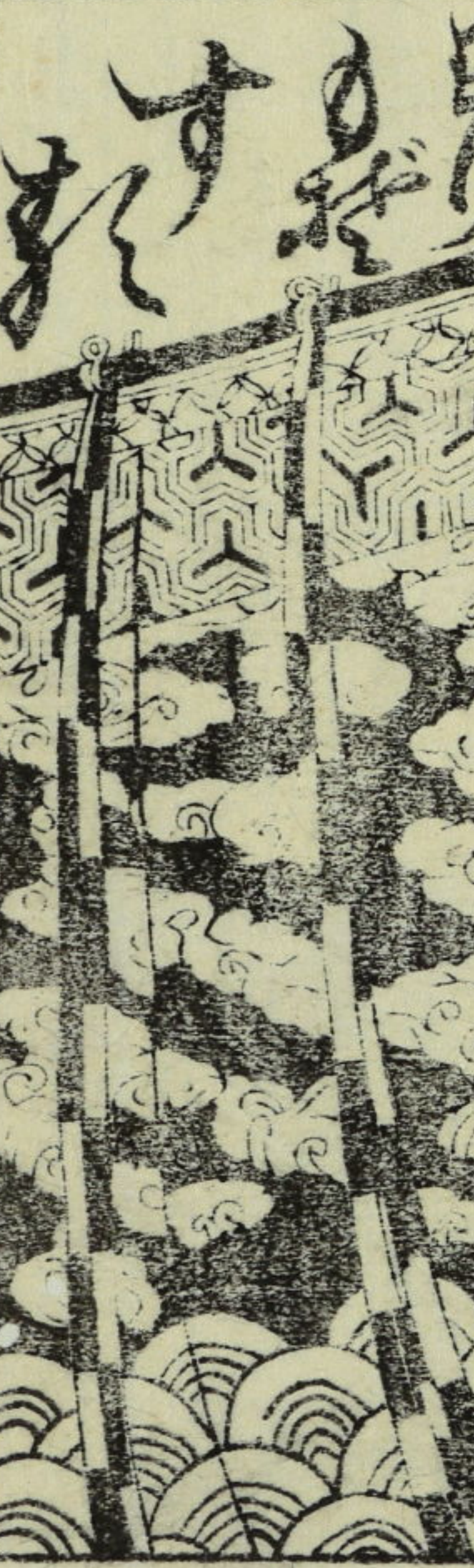
武子田親王

皇太后院別当

皇太后院別当

皇太后院別当

皇太后院別当



皇太后

皇太后

○男上女火 大者
 子五人 女金女木 大者
 何ゆもか乃まきあり
 聖病しては命を
 考りて神とて
 ○男金女木 大者
 拾うて後の子ふ
 二人有下 病とて
 二人有下 病とて
 ○男金女木 大者
 子五人 女金女木 大者
 何ゆもか乃まきあり
 聖病しては命を
 考りて神とて

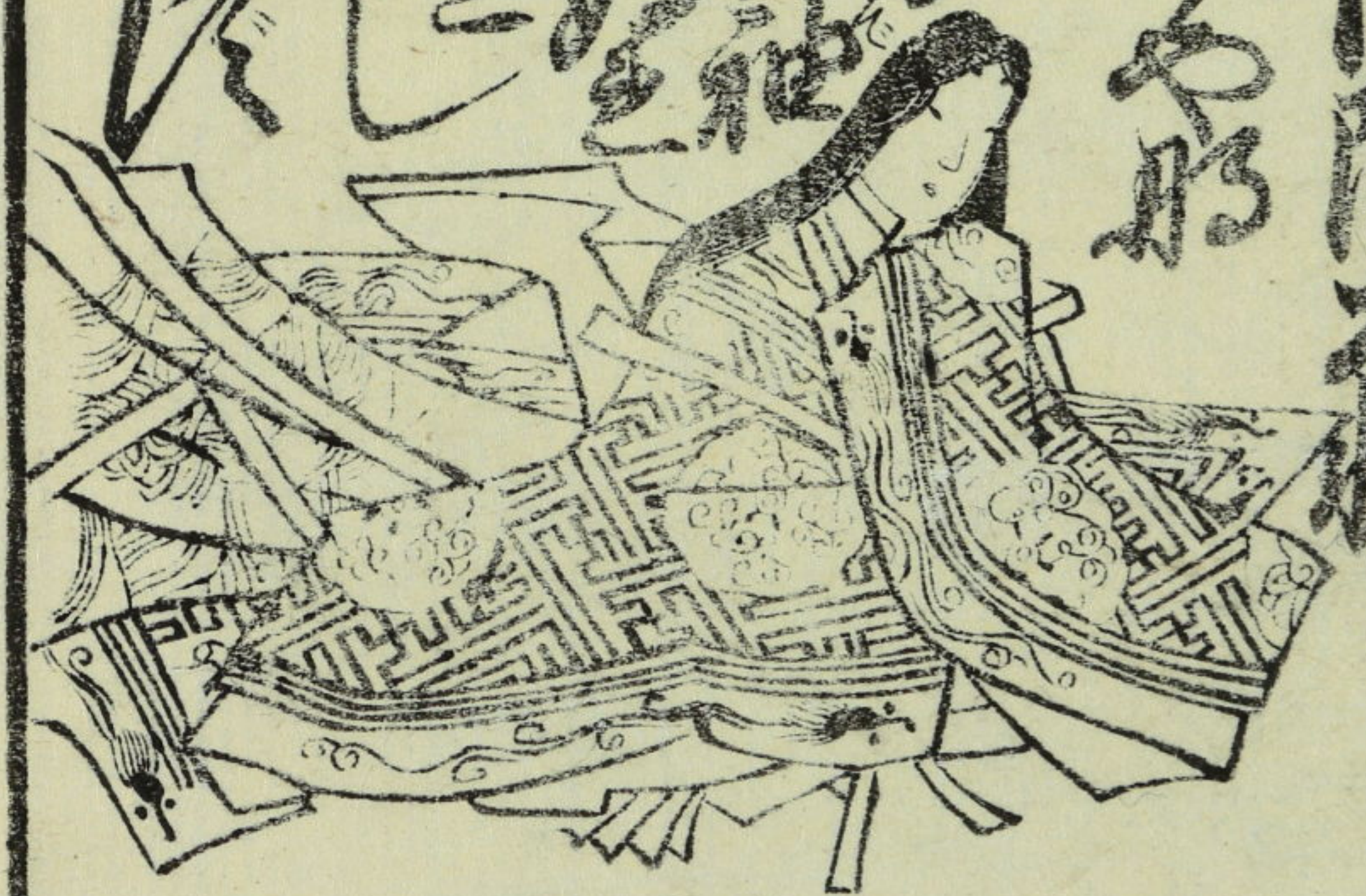


何ゆもか乃まきあり
 ○男上女火 大者
 子五人 女金女木 大者
 何ゆもか乃まきあり
 聖病しては命を
 考りて神とて

ひらりかゝる
 夜
 まりくす
 後



殷富の院
 見せざる
 酒
 色
 色
 色



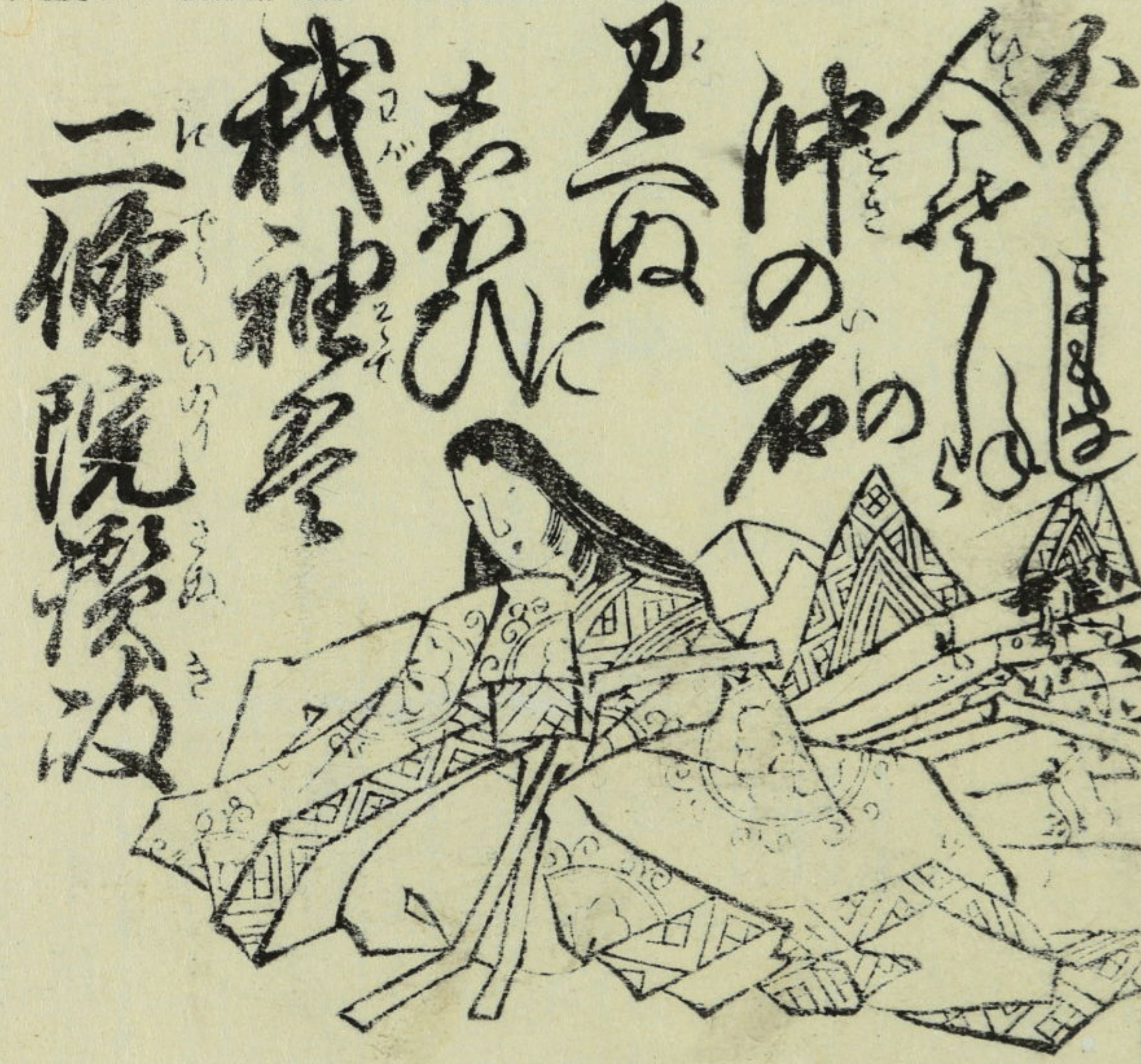
後

五

五

五

○男金女あ 大若
 子あふ福あありて
 田畠あ命あー
 ○男金女火 大魚
 子一人あ純とを繼命
 なりとたのんあ後
 ○男金女去 大若
 子あふ九人の長食
 と毛にマアアア下人
 多くさああはえを
 名あなり
 ○男女水あ 大若
 子あああああああ



二條院
 我神
 仲の石
 思ぬ
 志あ
 今あ
 かり



氏林をまうる
 ○男あ女木 大若
 子七人ああ人あ有後
 個あああああああ
 中あああああああ
 といくあああなり



鎌倉
 其乃
 あり
 わま
 つま

○男あ女火 大魚
 子三人あてありの中
 に舞ひあそぶ奉ん
 けるるぞ
 ○男あ女 大魚
 子四人あねもあそび
 するりうらげあそぶ
 くるるぞ
 ○男水女金 大古
 子五人あ有御して
 長成る方ち何れか
 んふたひんをさる
 あまこあそび



氣謙雅後

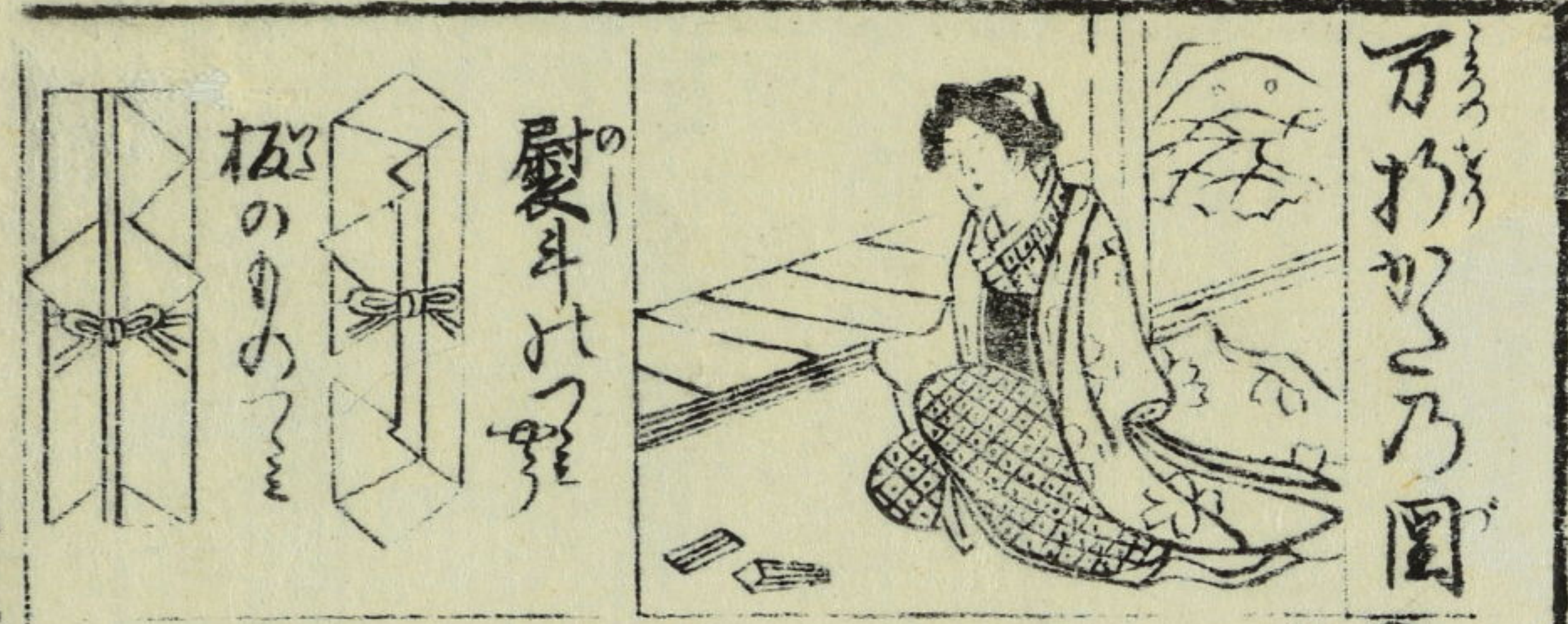
山の野

秋之

小松の

煙の

夜つたり



万折乃圖

鬘斗れつ程

松ののり



華の

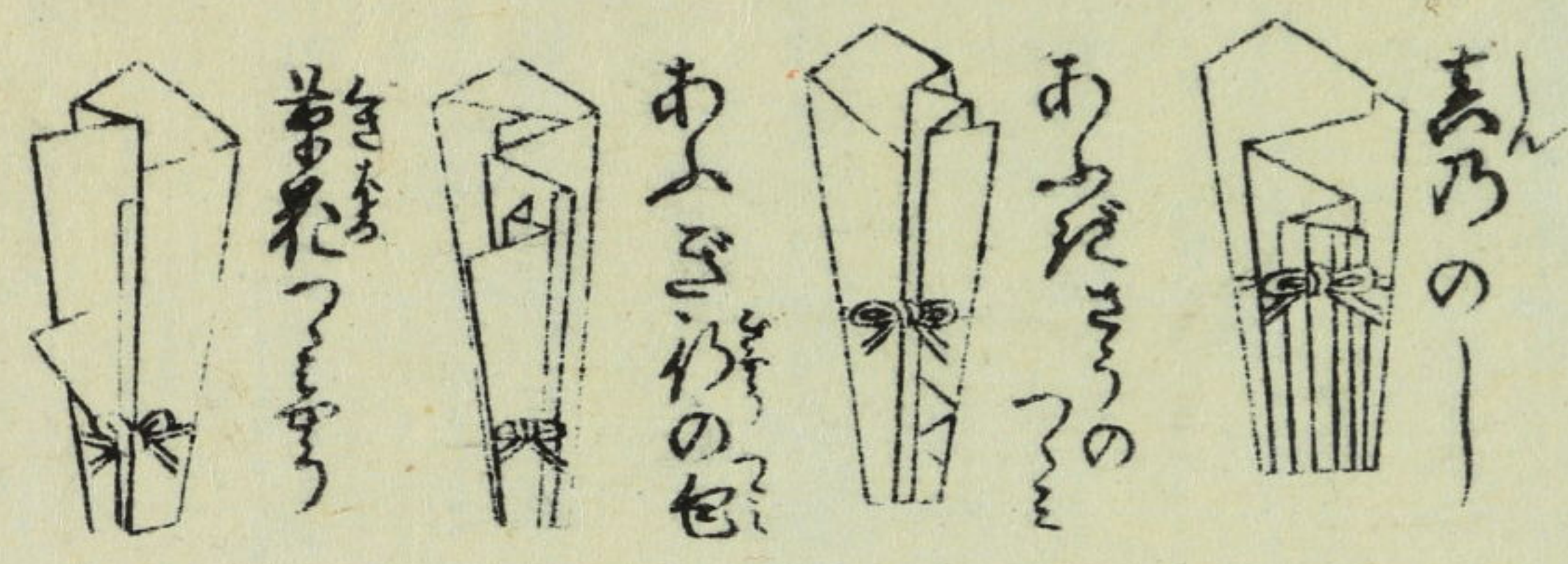
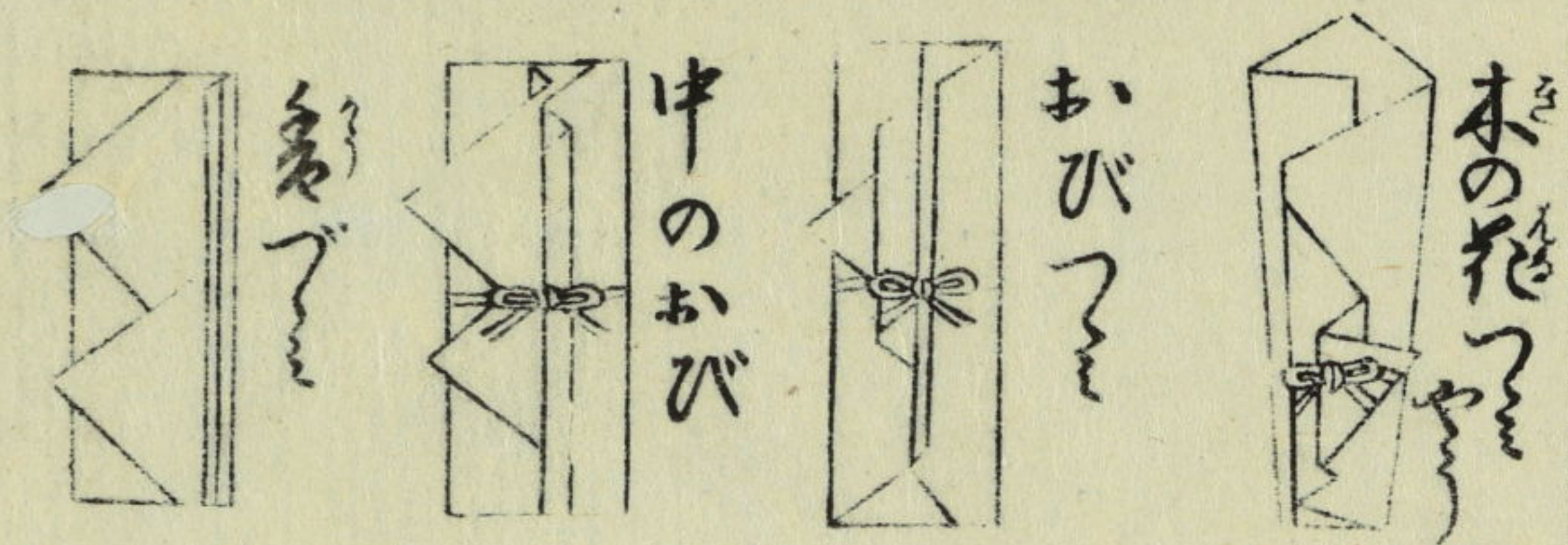
かかあ

うら

氏に

秋の

すこぢめ乃神

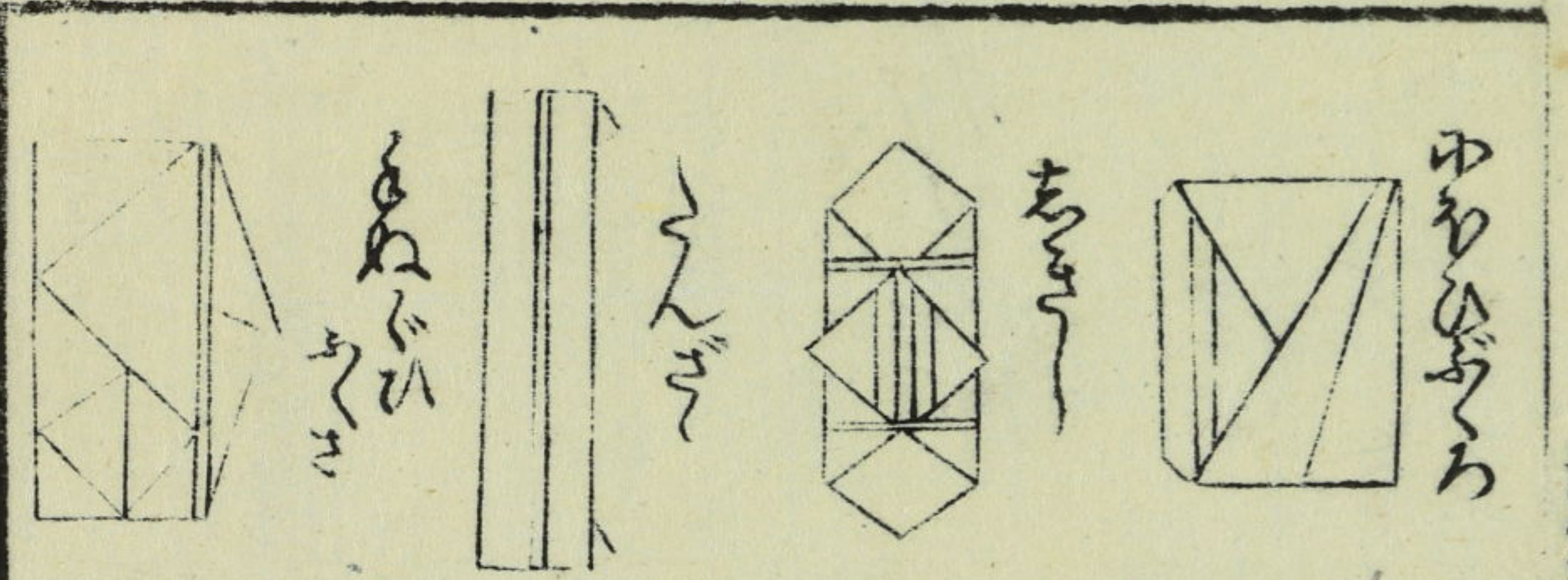
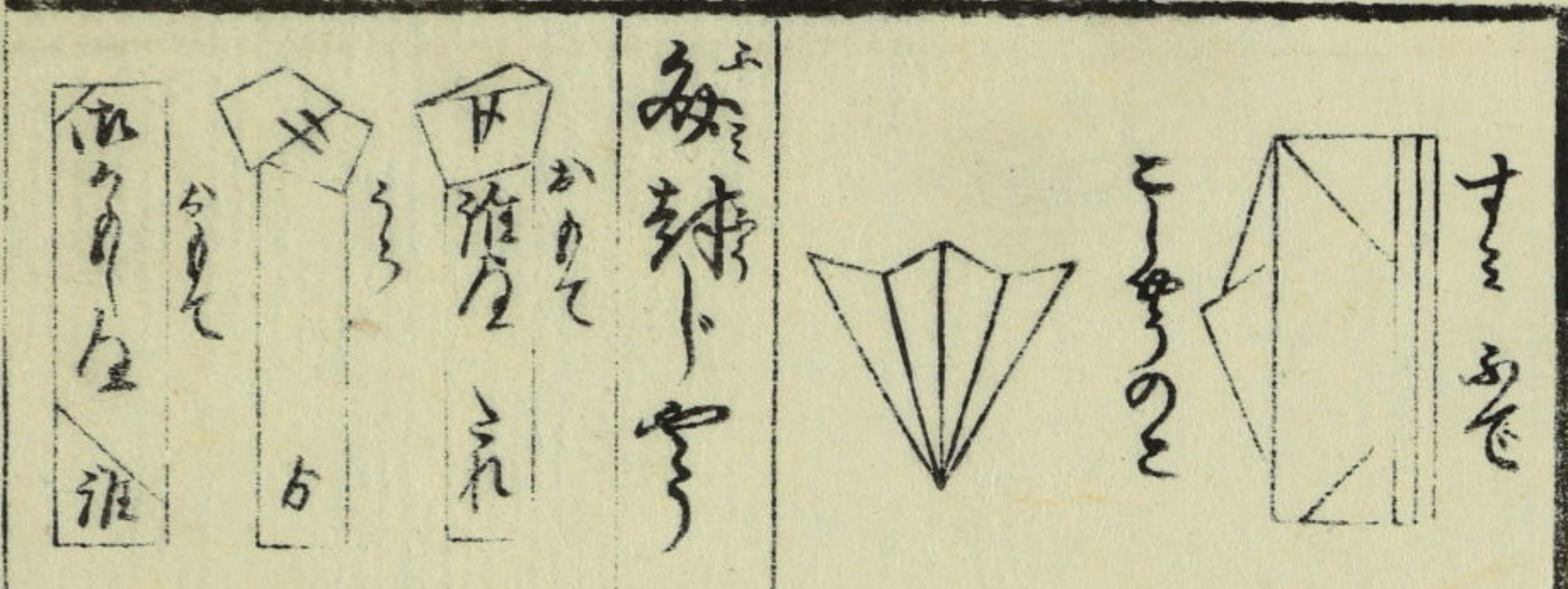


紙のたつ

目

紙のたつ

目





金澤市西町
米山弥三郎

下 らる け	中 し く	上 く し く め	ら る か め	ま た づ け			
--------------	-------------	-----------------------	------------------	------------------	--	--	--

順徳院

百後や

新瑞

あのみ

程の

し

し

